

HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査報告書

(平成23年度)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV 検査相談体制の充実と活用に関する研究

研究代表者

加藤 真吾 (慶応義塾大学医学部)

研究分担者

今井 光信 (田園調布学園大学)

中瀬 克己 (岡山市保健所)

HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H23 年）

研究分担者	今井光信	（田園調布学園大学 神奈川県衛生研究所）
研究協力者	近藤真規子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	佐野貴子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	大野理恵	（神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班）
	中瀬克己	（岡山市保健所）
	須藤弘二	（慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室）
	加藤真吾	（慶應義塾大学 医学部微生物部・免疫学教室）

研究概要

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 560 か所（保健所及びその支所等）の施設中、461 施設（82%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成 23 年の 1 年間に、回答の得られた 461 施設中 460 施設で、84,404 件の HIV 検査が実施され、220 件（0.26%）が陽性であった。陽性 220 件中 206 件（94%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、その中の 146 件（66%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 23 年に陽性と分かった 220 件中の 166 件（76%）については自施設からの報告が行われていることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 23 年に即日検査を実施した保健所は 310 施設（67%）と昨年よりやや増加し、HIV 検査相談における即日検査が着実に定着し、普及しつつあることがわかった。また夜間・土日検査に関しても、夜間検査が 162 施設（35%）で、土日検査が 67 施設（15%）と、昨年同様かやや増加していた。一部地域においては、東北大地震の影響もあり検査相談事業の一時中止を余儀なくされた施設もあったが、全国的にみると検査相談の実施形態には改善傾向がみられることが分かった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした 19 施設中 18 施設から回答が得られ、平成 23 年 1 年間の検査件数は 26,207 件で陽性件数は 167（0.6%）であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは 160 件（96%）、その後医療機関に受診したことを確認できた件数が 137（82%）であった。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知の問題に関して、平成 23 年には調査開始以来最も多い 3 件の報告があった。一例は HIV 検査において誤って HBs 抗原の検査キットを使用したもので、他の 2 例は B 型肝炎検査と梅毒検査の結果報告における誤通知であった。保健所において HIV 検査とともに他の性感染症検査を行う保健所も多く、受検者にとって利便性が高まる一方、異なる種類の検査が並行して進行するため、検査相談の業務がより複雑化し、誤通知のリスクも高まっているものと思われる。誤通知の防止のためには、システム全体の見直しとともに、一人一人のより注意深い対応が求められており、研究班としてもマニュアルの改訂等も含め、検査相談体制の充実にさらに努めていく必要がある。

A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等 560 の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 19 の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 24 年 1 月 5 日に HIV 検査相談に関するアンケート調査票（資料 1 参照）を郵送し、平成 24 年 1 月 20 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 580 施設中 461 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 82%であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 19 施設中 18 施設（95%）からアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 461 保健所等施設の中で HIV 検査相談を実施している施設は 460 箇所（99.8%）であった。

② HIV 検査総数と陽性率

上記保健所等 460 施設で平成 23 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 84,404 件で、陽性例は 220 例（0.26%）であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率（図 2, 3）

HIV 検査陽性の 220 例において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 206 例（94%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 146 例であり、陽性結果を伝えられた 206 例中の 71%、全陽性例 220 例中の 66%であった。

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 23 年に陽性と分かった 220 件中の 166 件（76%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査に関しては 385 施設（84%）の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 294（76%）施設、クラミジア抗体 226（59%）施設、クラミジア抗原 68（18%）施設、淋菌 42（11%）施設、B 型肝炎 278（72%）施設、C 型肝炎 151（39%）施設であった。今回の調査で、B 型肝炎の検査を実施している施設数が昨年の 126 施設（33%）から 278 施設（72%）と急激に増加していることが分かった。

⑥ 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 185 施設（40%）、即日検査と通常検査を行っている施設が 125 施設（27%）、通常検査のみ行っている施設は 150 施設（33%）であり、67%の施設が即日検査を導入していることが分かった。

⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 460 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 231 施設（50%）、平日夜間検査を行っている保健所が 162 施設（35%）、土曜・日曜検査を行っている保健所が 67 施設（15%）であり、その比率は昨年・一昨年とほぼ同じであった。

⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 110 施設（24%）、通常夜間が 35 施設（8%）、通常土日が 5 施設（1%）であり、即日平日が 85 施設（18%）、即日夜間が 69 施設（15%）、即日土日が 31 施設（7%）であり、両検査平日が 36 施設（8%）、両検査夜間が 58 施設（13%）、両検査土日が 31 施設（7%）であった。通常平日の組み合わせの占

める比率は 24%と年々減少しており、多くの検査施設がより利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。

⑨ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 166 箇所(36%), 50 件以上 100 件未満は 79 箇所(17%), 100 件以上 200 件未満は 84 箇所(18%), 200 件以上 500 件未満は 94 箇所(20%), 500 件以上 1000 件未満は 25 箇所(5.4%), 1000 件以上は 12 箇所(2.6%)であった。

⑩ 年間検査件数別の検査数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 28%であったが、そこで実施された検査件数は、検査総数の 75%を占めているおり、また、年間 500 件以上の施設は 8%であるが、それら施設における検査数は全検査数の 41%を占めていた。

⑪ 年間検査件数別の陽性率

保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.26%であり、年間検査数別に調べると、検査数 50 未満では 6 例で 0.16%、50-99 件の保健所では 13 例で 0.24%、100-199 件の施設では 33 例 0.27%、200-499 件の施設では 51 例 0.18%、500-999 件の施設では 64 例 0.37%、1000 件以上の施設では 53 例(0.30%)と検査数の多い施設では陽性率もやや高い傾向がみられた。

⑫ 予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施施設の 60%、即日検査の実施施設の 80%が予約制を実施しており、またその場合通常検査では 41%、即日検査では 80%が上限をもうけていることが分かった。

⑬ HIV 検査の実施施設

通常検査の場合、自保健所での実施が 21%、他の保健所への委託が 9%、衛生研究所への委託が 39%、外部委託による検査は 31%であった。また、確認検査に関しては衛生研究所への依頼が 63%で、外部委託は 28%であった。

即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 69%、医師、保健師が 15%、であった。

⑭ 結果説明について

結果説明の担当者に関しては、陰性時には医師が 47%、保健師が 64%であり、確認検査陽性時には 97%とほぼ全ての施設で医師が担当し、69%で保健師も加わっていた。また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、90%の施設において行われており、77%では全員に、21%の施設では、一部を対象に行われていた。陽性者への説明に関しては、全施設の 70%で説明資料を用意してあるとの回答であった。陽性者への説明のマニュアルについては 53%の施設であり、31%でなしと回答があった。

⑮ 特設検査相談施設における検査相談

18 箇所の特設検査相談機関での検査総数は 26,207 件で、陽性例は 167 例(0.6%)であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは 160 例(96%)であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 137 例であり、陽性結果を伝えられた 160 例中の 86%、全陽性例中の 82%であった。

⑯ HIV 検査結果の誤通知について

平成 23 年には全国で 3 件の誤通知事例があった。一例では、HIV 検査において誤って HB s 抗原検査キットを使用してしまい、受検者の一人が HB s 抗原迅速検査キットで陽性となったため、誤って HIV 検査陽性と受検者に伝えてしまった。その後、誤りに気づき広報により呼びかけた結果、誤通知を受けた受検者に連絡ができ正しい結果を伝えることができた。この誤通知例では、検査キットを取り違えて使用するという基本的ミスであったが、その後検査キットの確認手順等も定め再発防止に努めている。他の 2 例は、HIV 検査と並行して行っている B 型肝炎検査と梅毒検査に

おける誤通知であった。現在、84%とそのほとんどの保健所が HIV とともに他の性感染症検査も行っており、受検者にとっての利便性が高くなっている一方、検査相談業務に携わる者にとっては、検査相談の業務がより複雑化するため、誤通知のリスクも高まっている。そのため、その防止のためには、システム全体の見直しとともに、一人一人のより注意深い対応が求められている。

D. まとめと考察

前回のアンケート調査から、新型インフルエンザの流行による HIV 検査相談事業への直接的影響はほとんどなかったものの、国民全体の関心が新型インフルエンザに向かうに伴い、HIV への関心が下がったことによる影響で、保健所等における HIV 検査相談数が減少傾向にあることが明らかになったが、今回のアンケート調査では、昨年3月におきた東北大震災の影響も重なり、検査数の減少傾向はつづいており、保健所等の検査相談施設での検査数は横ばいかやや減少していることが分かった。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした560の保健所等施設の82%、461施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV 検査を実施している全国の460保健所等施設で、平成23年には84,404件のHIV検査が実施され、そのうち220件(0.26%)が陽性であった。この220件の陽性例のうち、206件(94%)が再来所して陽性の結果を受け取っており、その146件(71%)については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。医療機関に繋がったことの確認ができた率は、この数年間ほぼ一定である。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査を実施している保健所の比率が67%とやや上昇し、即日検査の導入も着実に

に定着しつつあるものと思われる。また、通常検査のみを実施している保健所(33%)においても、夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を実施している保健所が増えており、通常検査で平日昼間のみの保健所は全体の14%と少なかった。

また、本年は残念ながら HIV 検査結果の誤通知の発生が3件報告されている。誤通知の3例はいずれも HIV 検査以外の性感染症検査に関連したものであった。一つの例では HIV 検査と並行して行っている B 型肝炎検査の検査キットを誤って HIV 検査に使用したものであり、他の2例は HBs 抗体検査と梅毒検査に関する誤通知であった。

現在、84%とそのほとんどの保健所が HIV とともに他の性感染症検査も行っており、受検者にとっての利便性が高くなっている。

その一方、検査相談業務に携わる者にとっては検査相談の業務がより複雑化するため、誤通知のリスクも高まっている。そのため、その防止のためには、システム全体の見直しとともに、一人一人のより注意深い対応が求められている。

誤通知の発生は、当事者への影響とともに、HIV 検査相談事業全体への信頼に大きな影響を及ぼすため、その再発防止に向けての取り組みは、HIV 検査相談の利便性を高める取り組みと共に、極めて重要な課題である。本研究班においても研究班としてもマニュアルの改訂等も含め、検査相談体制の充実にさらに努めていく必要がある。

謝辞

保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

E. 研究発表

原著論文

1. 加藤真吾, 今井光信. HIV 検査の新たな展開. 日本エイズ学会誌 13(3):132-136. 2011.

図1

保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果

(2012年2月15日)

保健所アンケート 回答数 (2012. 2/15現在) **461 / 560箇所 (82%)**

2011年にHIV検査を実施した保健所 **460 / 461箇所 (99.8%)**

2011年に陽性結果のあった保健所 **115 / 460箇所 (25%)**

陽性件数 220 / 84,404 (陽性率 0.26%)

陽性結果を伝えられた件数 → **206 / 220 (94%)**

受診したことを把握できた件数 → **146 / 220 (66%)**

発生同行調査の報告を行った感染者数件数 → **166 / 220 (76%)**

(陰性結果を伝えられた件数 → 82,702 / 84,184 (98%))

図2 保健所等におけるHIV検査体制に関する 全国調査の結果

(2012年2月13日)

特設検査機関アンケート 回答数 (2012.2.13現在) 18/19箇所 (94%)

2011年にHIV陽性結果のあった特設検査機関 16/18箇所

陽性件数 167 / 26207 (陽性率 0.6%)

陽性結果を伝えられた件数→ **160 / 167 (96%)**

受診したことを把握できた件数→ **137 / 167 (82%)**

(陰性結果を伝えられた件数→ 25,646 / 26,040 (98%))

図3

(2011年)

保健所HIV検査 — 即日検査と通常検査 —

(460件中)

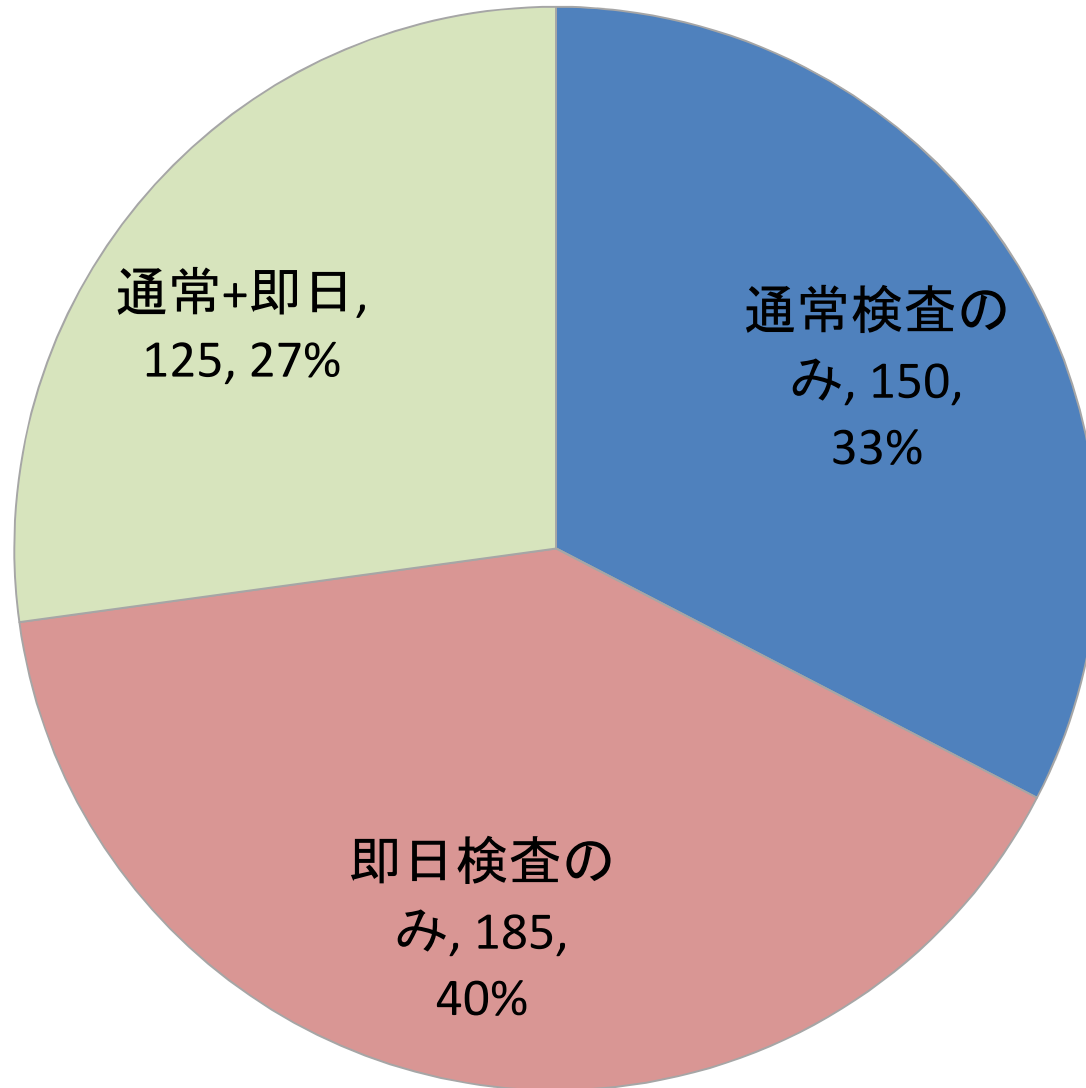


図4

(2011年)

保健所HIV検査 — 平日、夜間、土曜・日曜 —

(460件中)

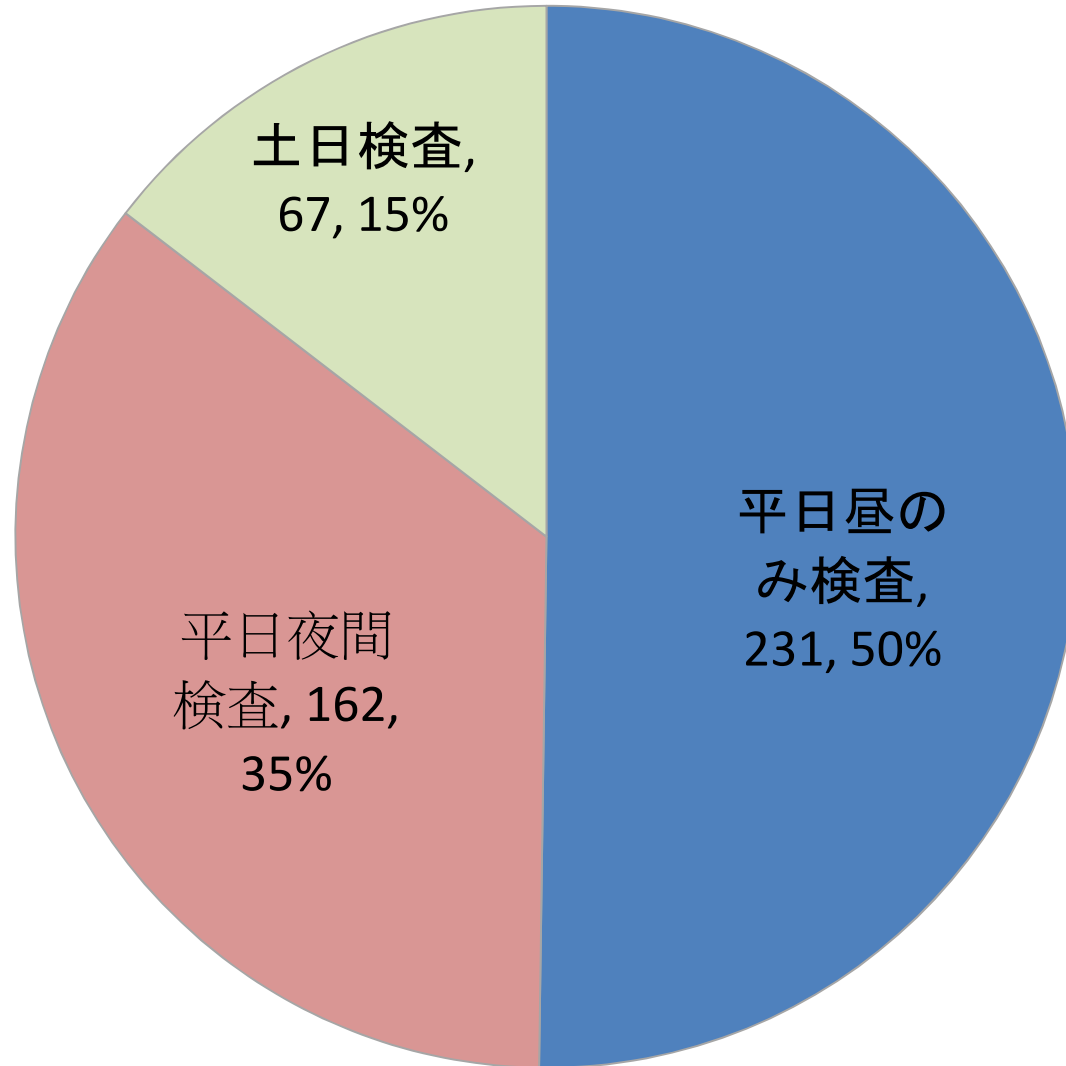
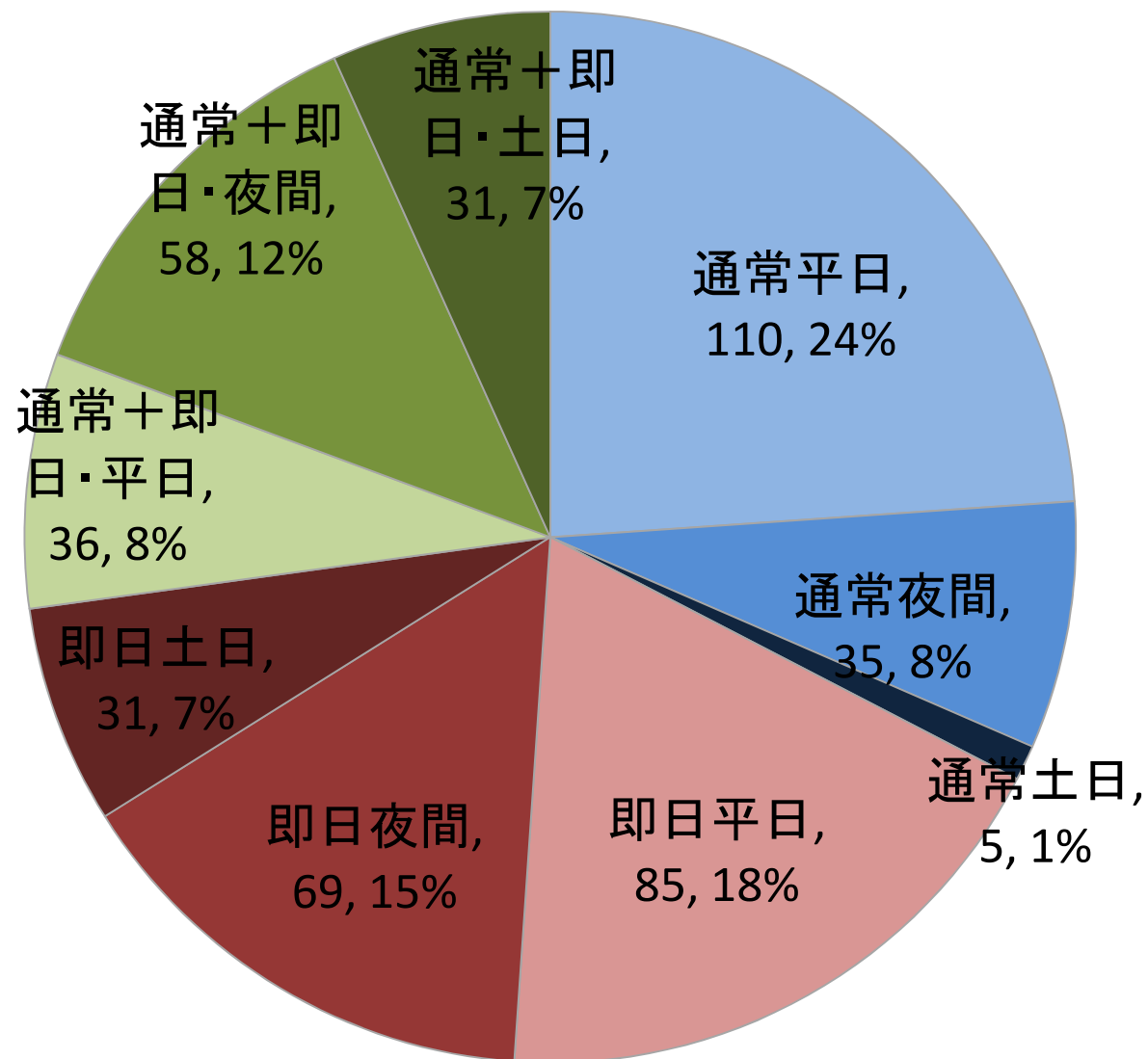


図5

(2011年)

各種HIV検査の実施状況 (保健所数の割合)



(460件中)

図6

(2011年)

各種HIV検査の受検者数(%)

(n=84,404)

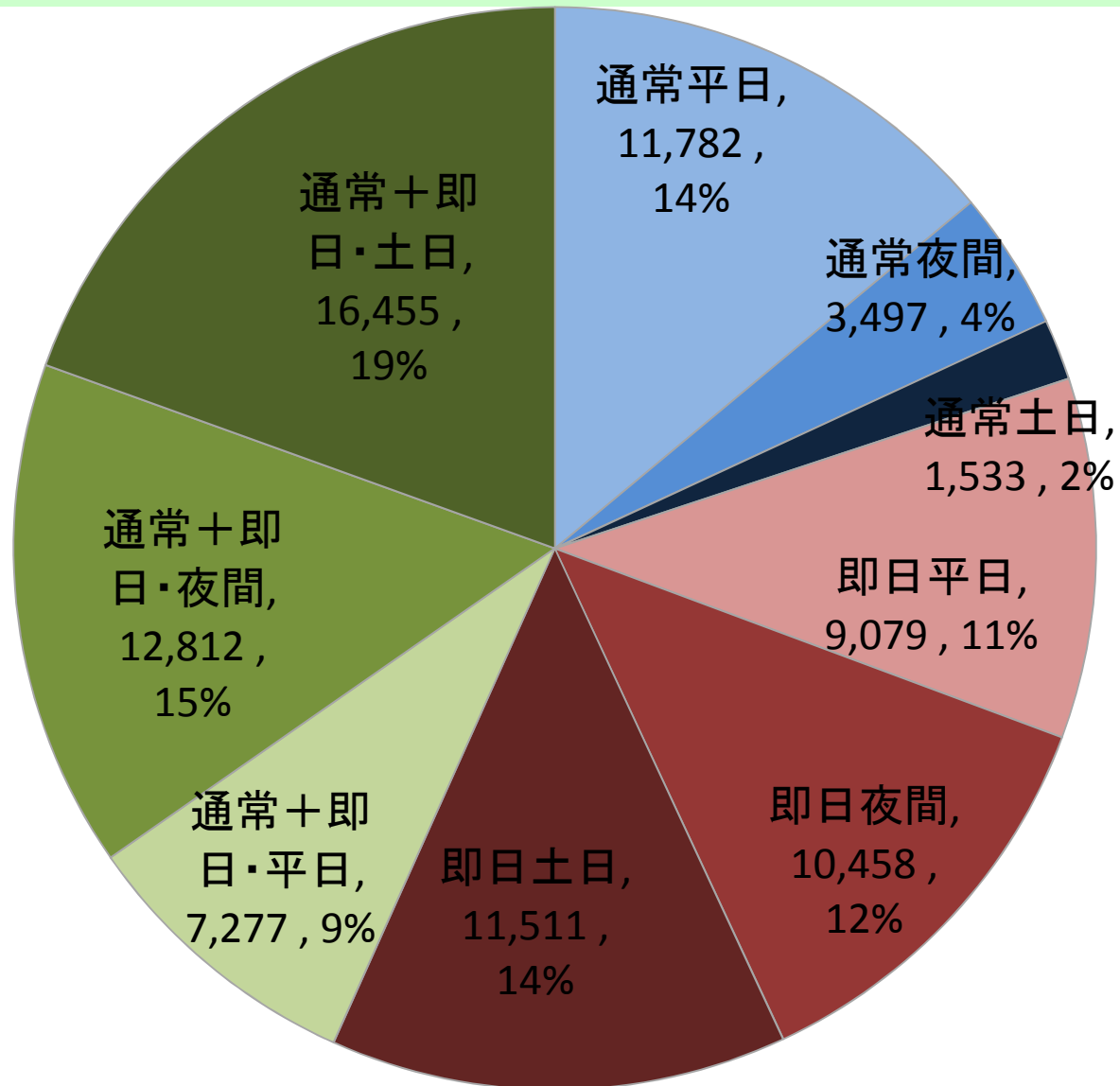


図7

(2011年)

各種HIV検査の陽性者数(%)

(n=220)

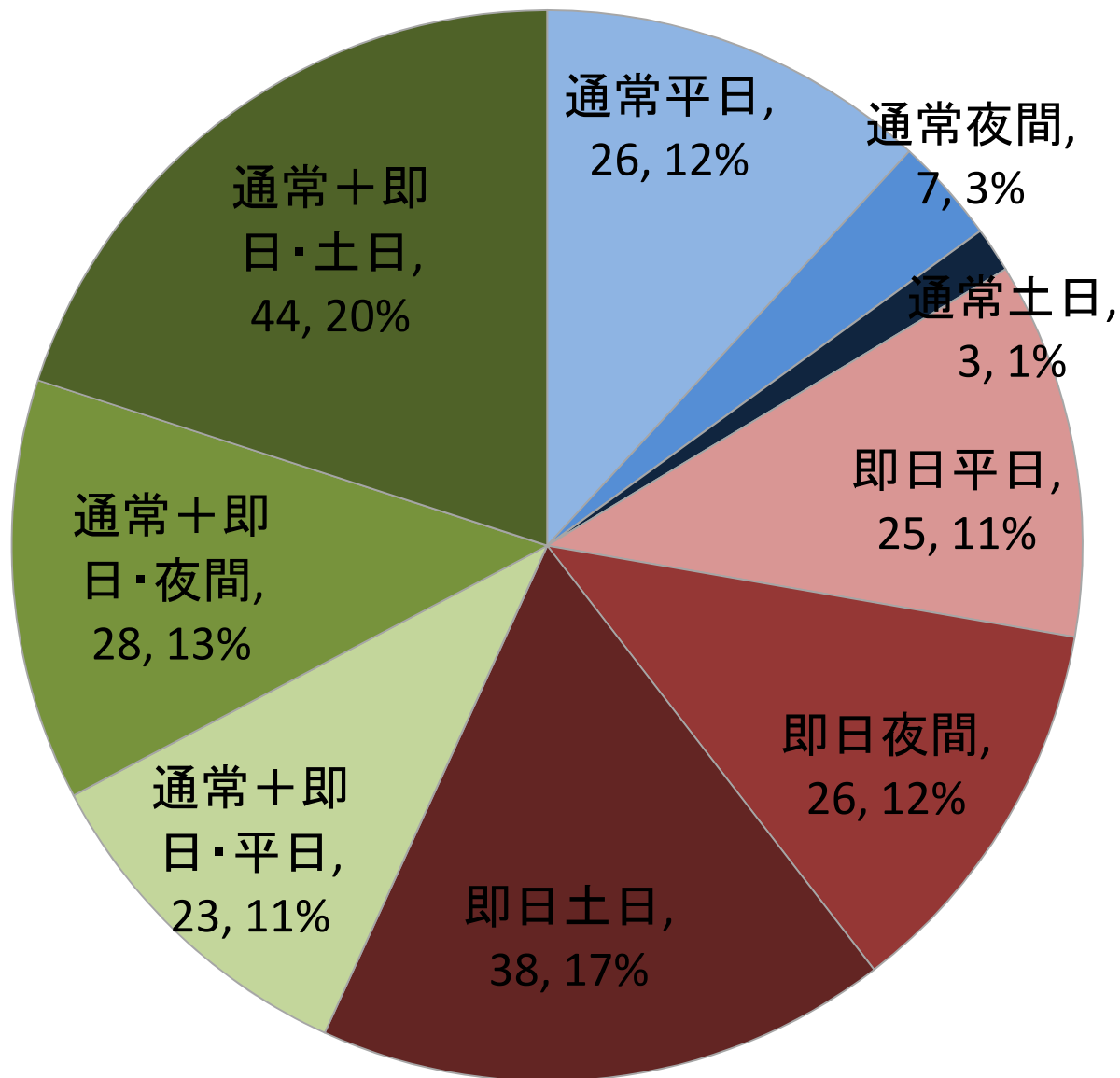
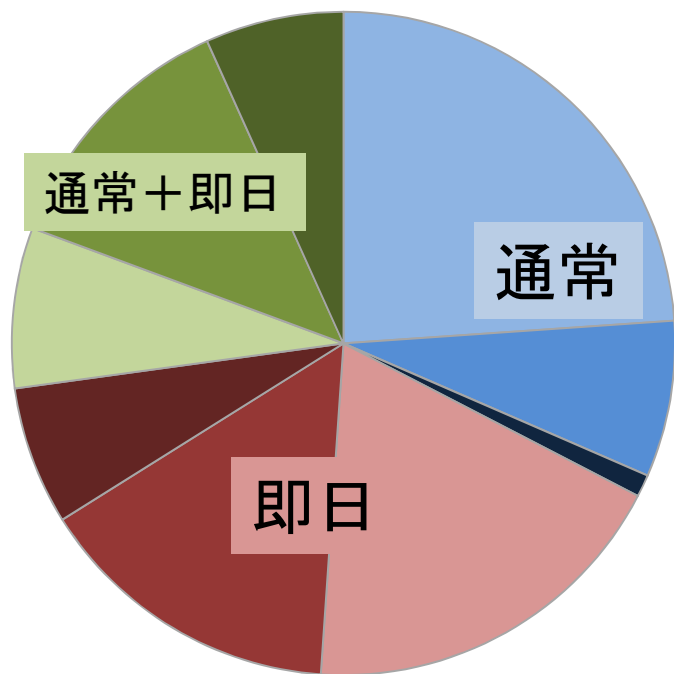


図8

各種HIV検査の実施状況

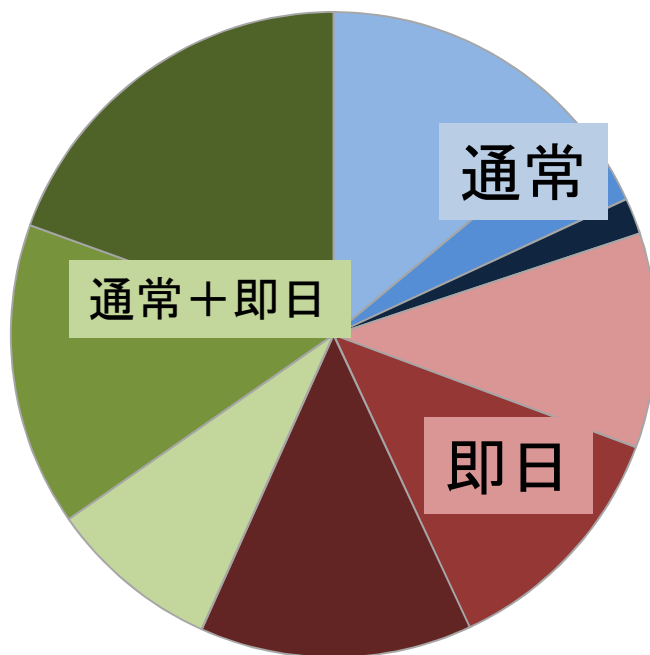
(2011年)

【保健所数の割合】



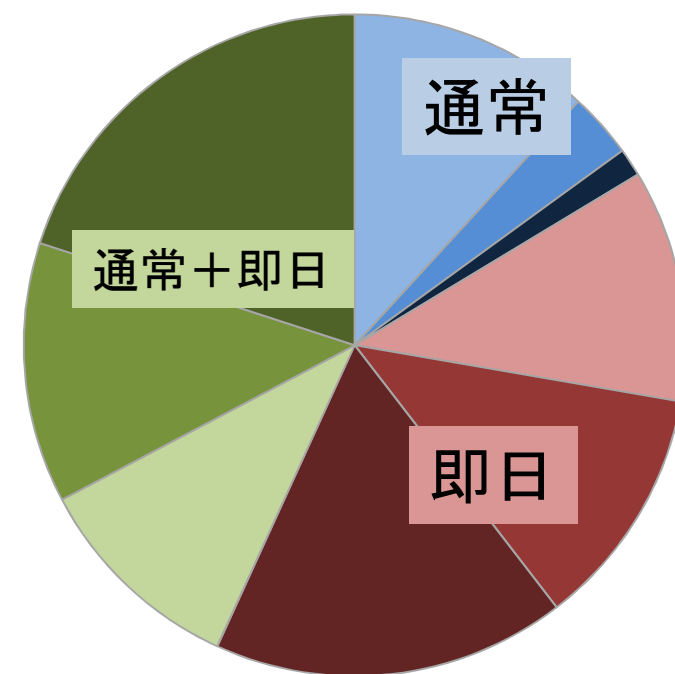
- 通常平日
- 即日平日
- 通常+即日・平日

【受験者数%】



- 通常夜間
- 即日夜間
- 通常+即日・夜間

【陽性者数%】



- 通常土日
- 即日土日
- 通常+即日・土日

図9

(2011年)

一施設当りの検査人数 ()内は陽性者数

【通常検査】

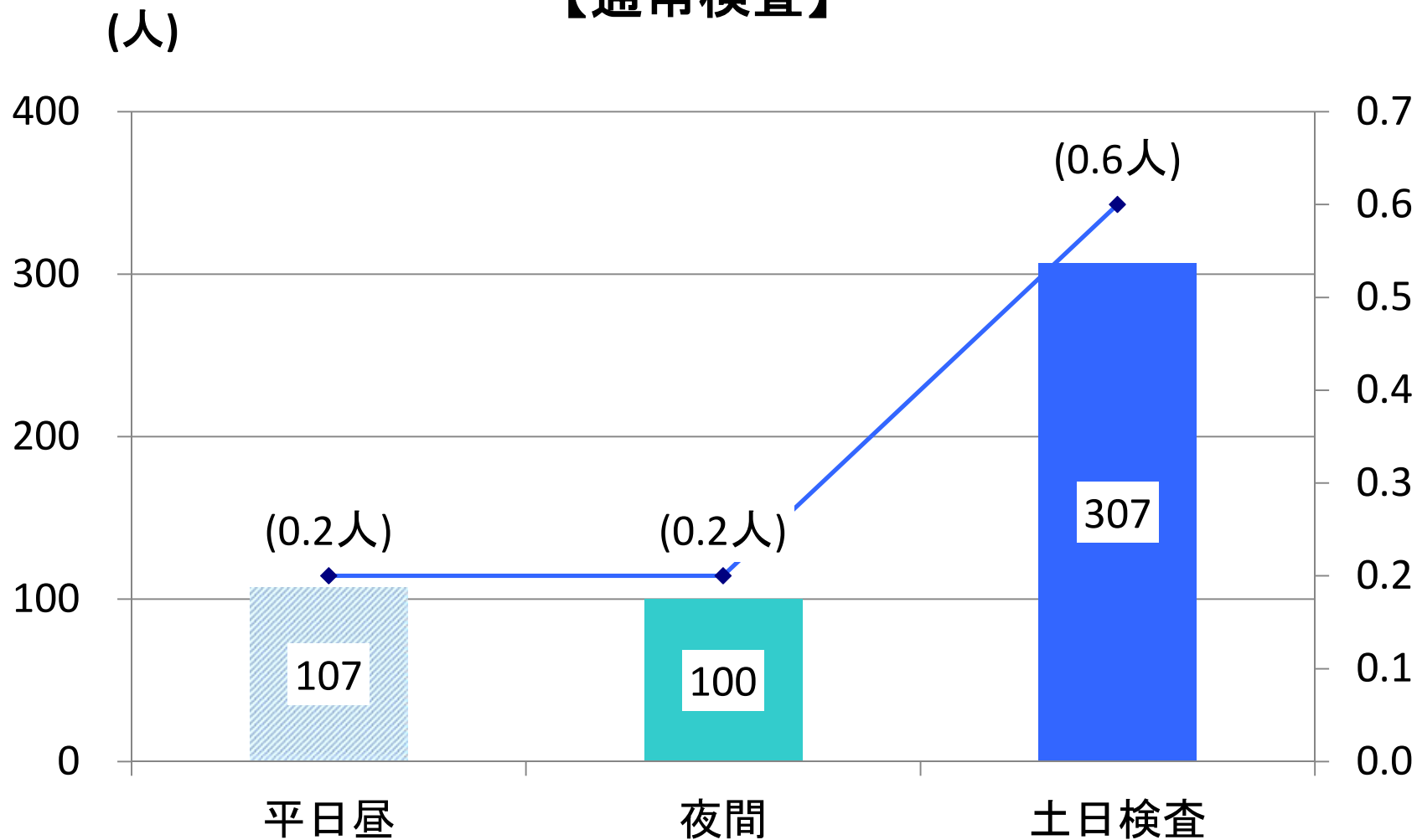


図10

(2011年)

一施設当りの検査人数 ()内は陽性者数

【即日検査】

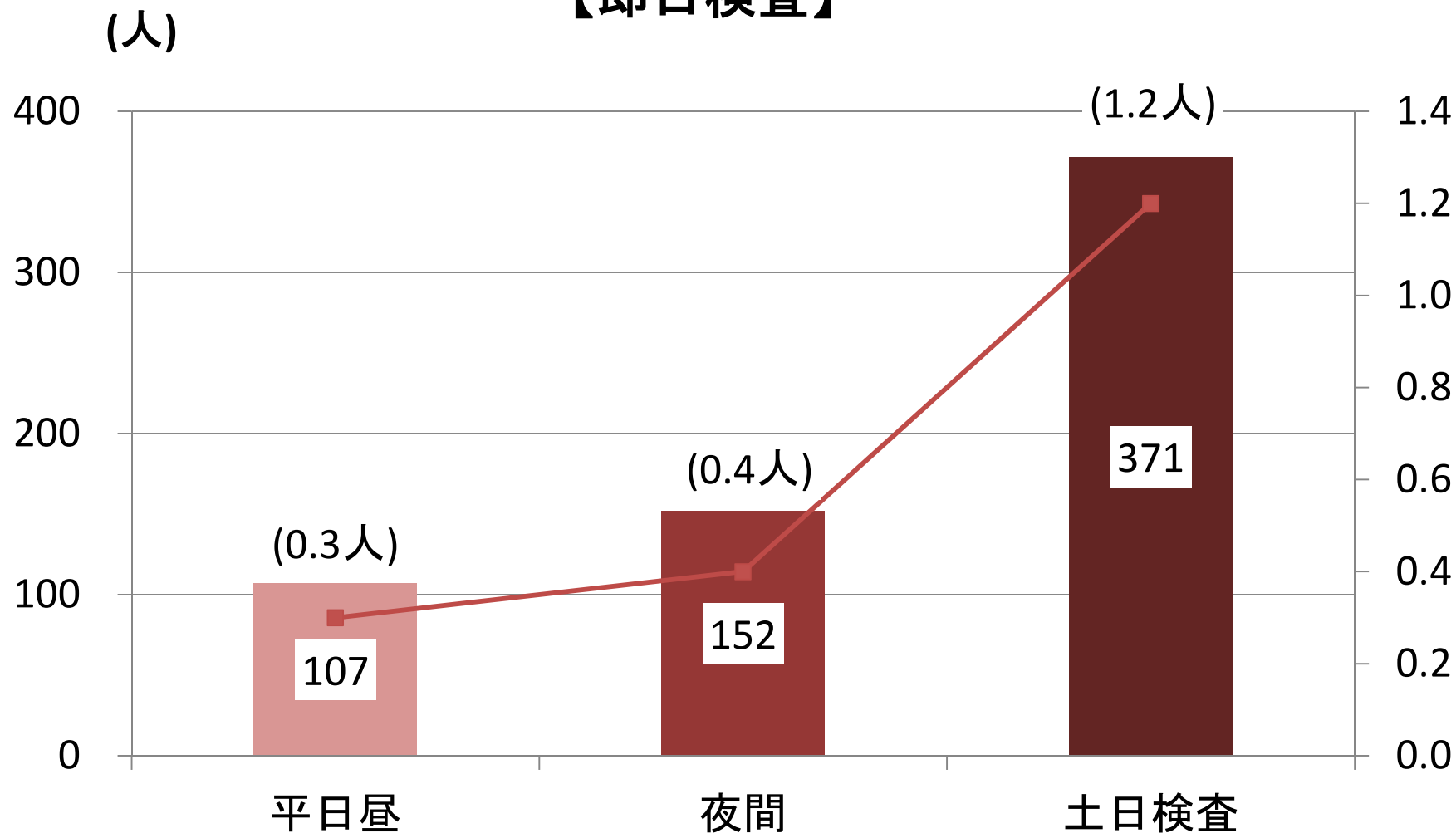


図11

一施設当りの検査人数

(2011年)

()内は陽性者数

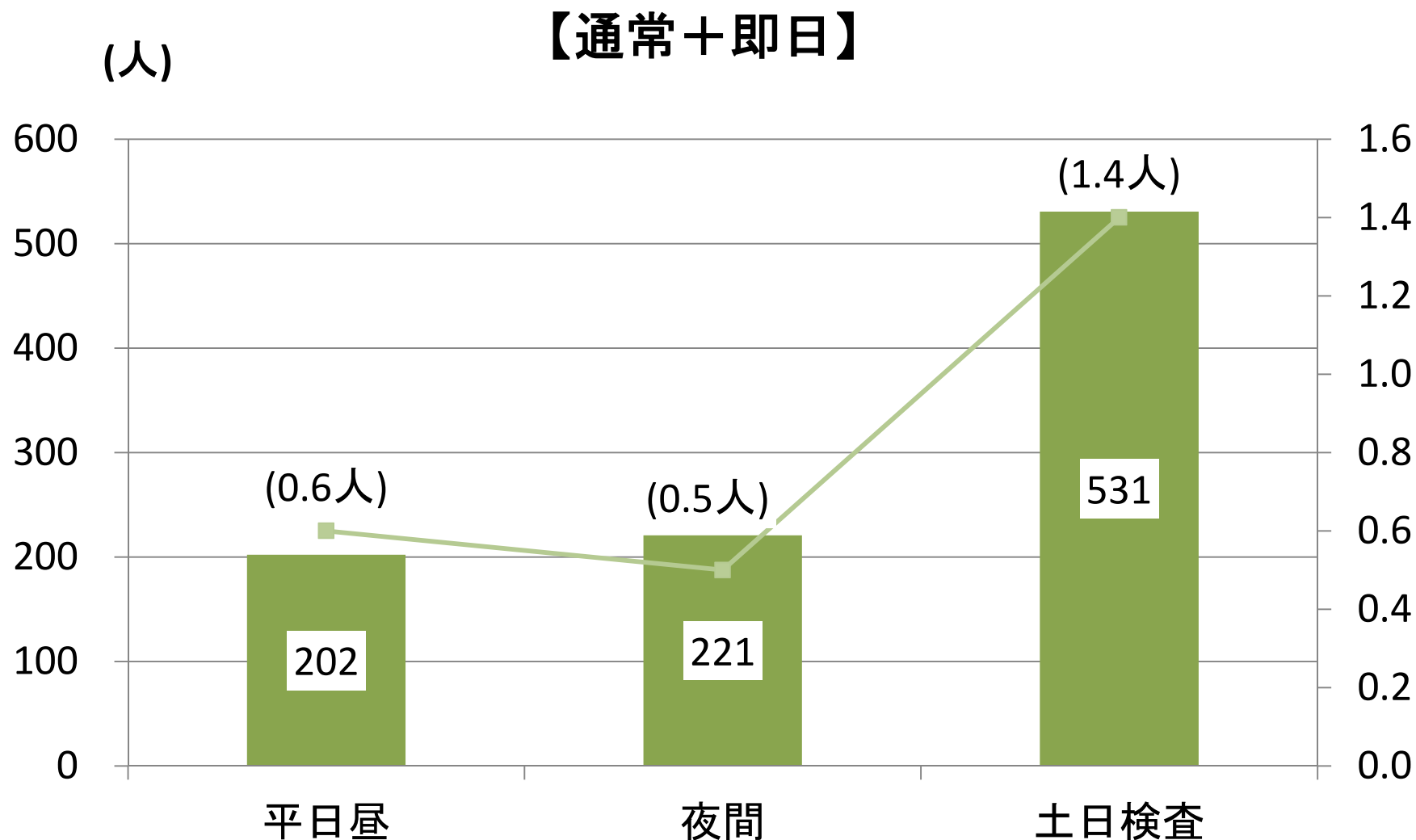


図12

(2011年)

年間検査件数別の保健所数

(460件中)

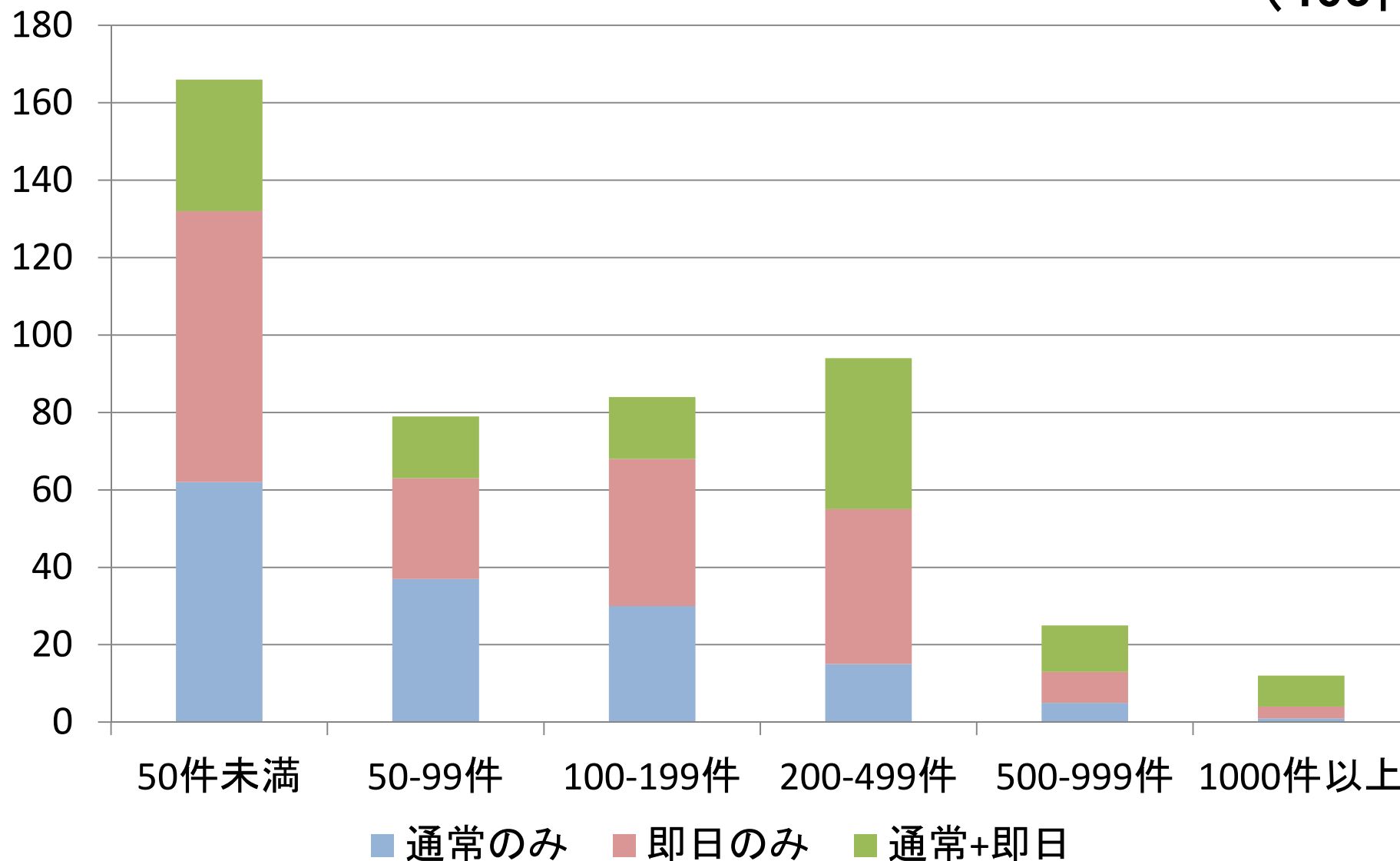


図13

(2011年)

年間検査件数別の 保健所数と検査数の割合

【保健所数】

【検査人数】

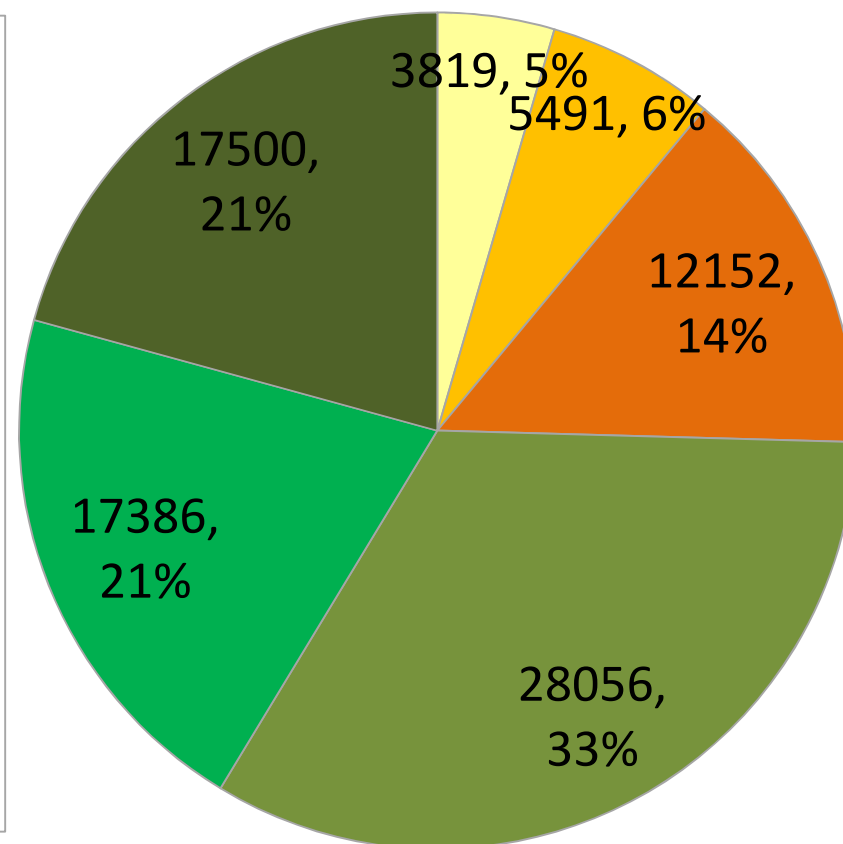
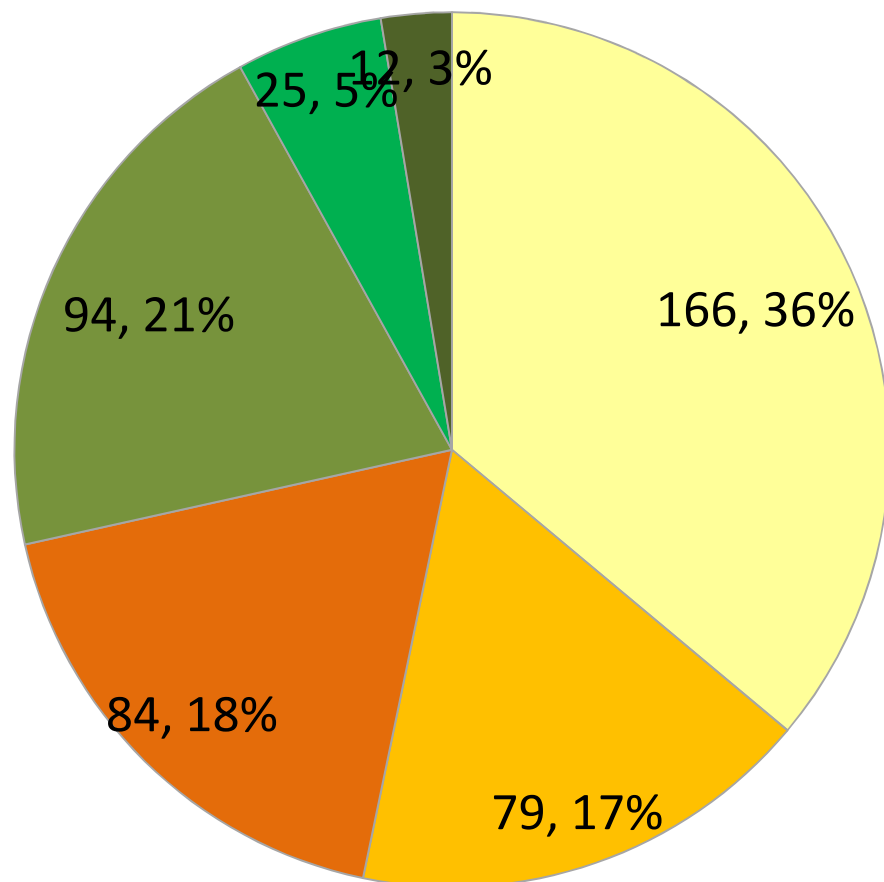


図14

(2011年)

年間検査件数別の陽性率

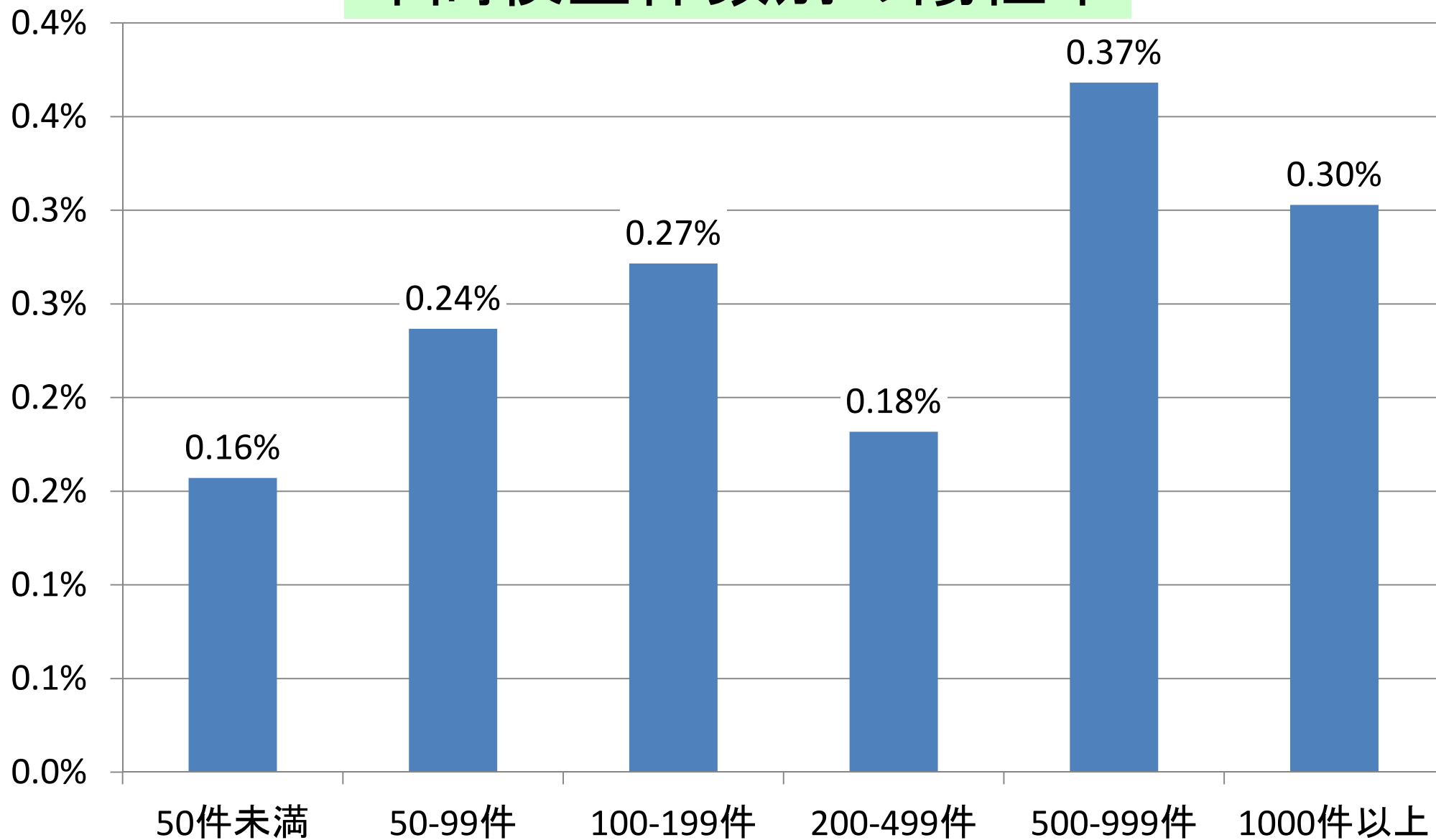


図15

(2011年)

年間検査件数別の陽性経験率

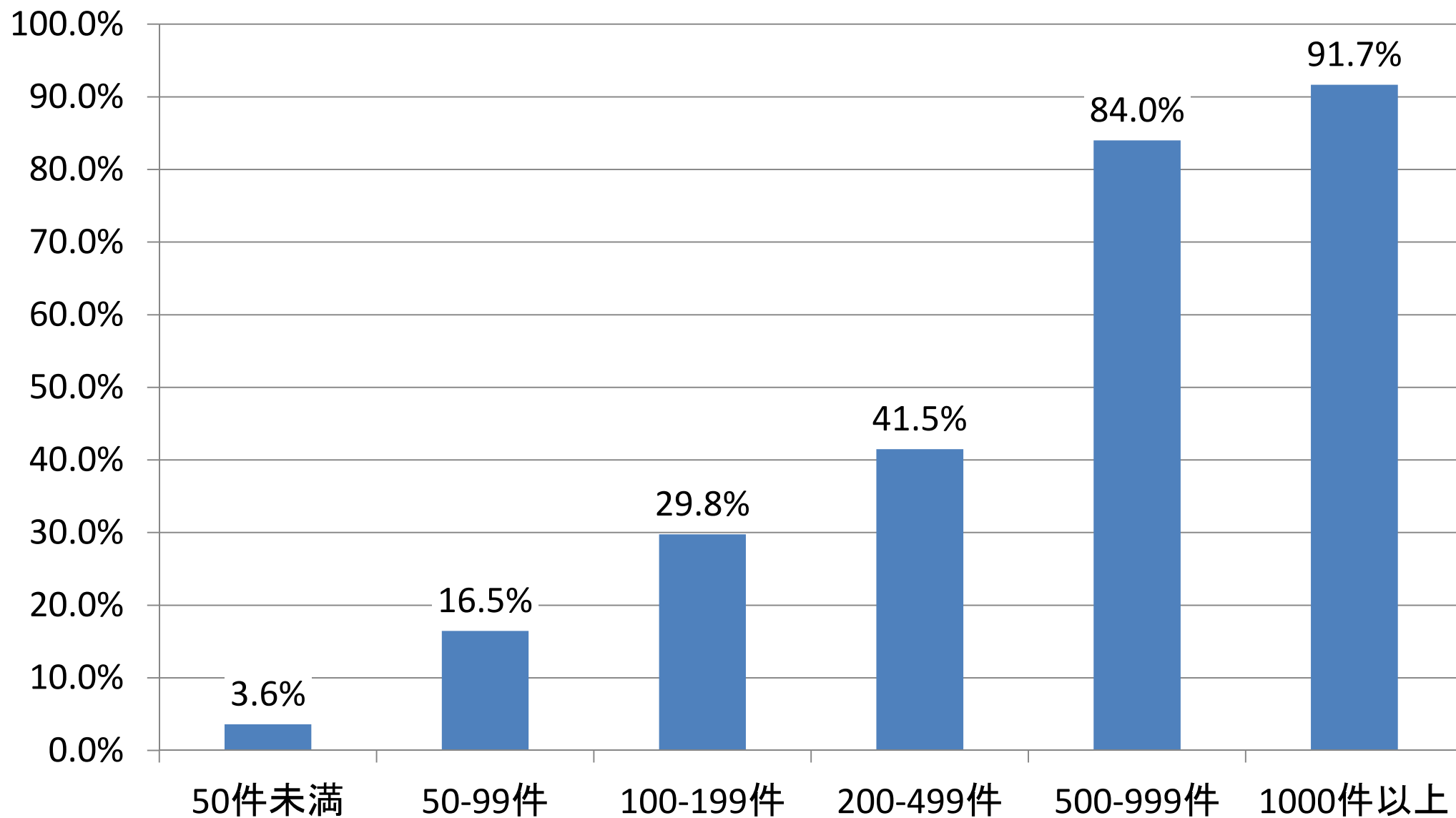


図16

(2011年)

年間検査件数別の受診把握率

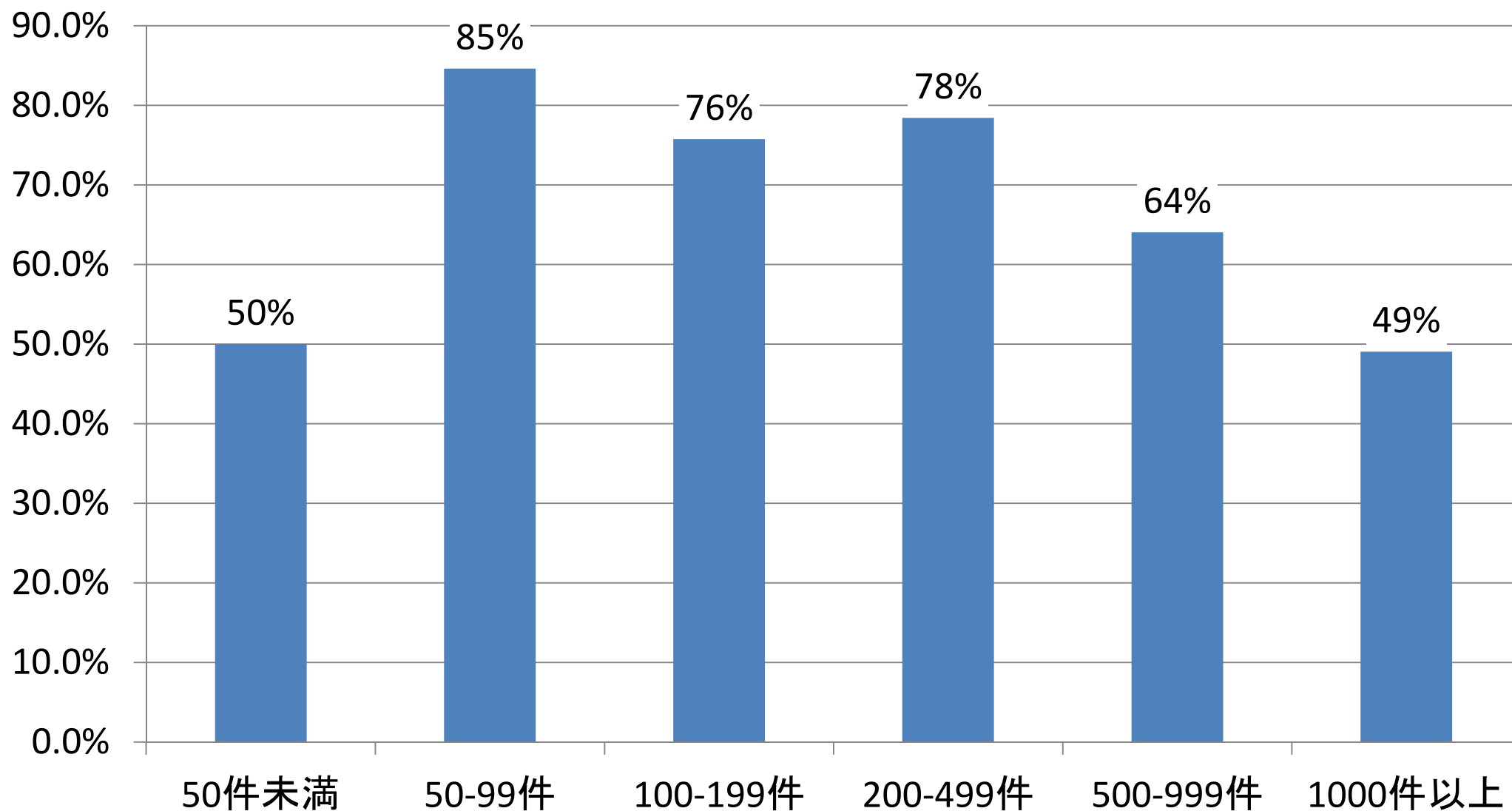
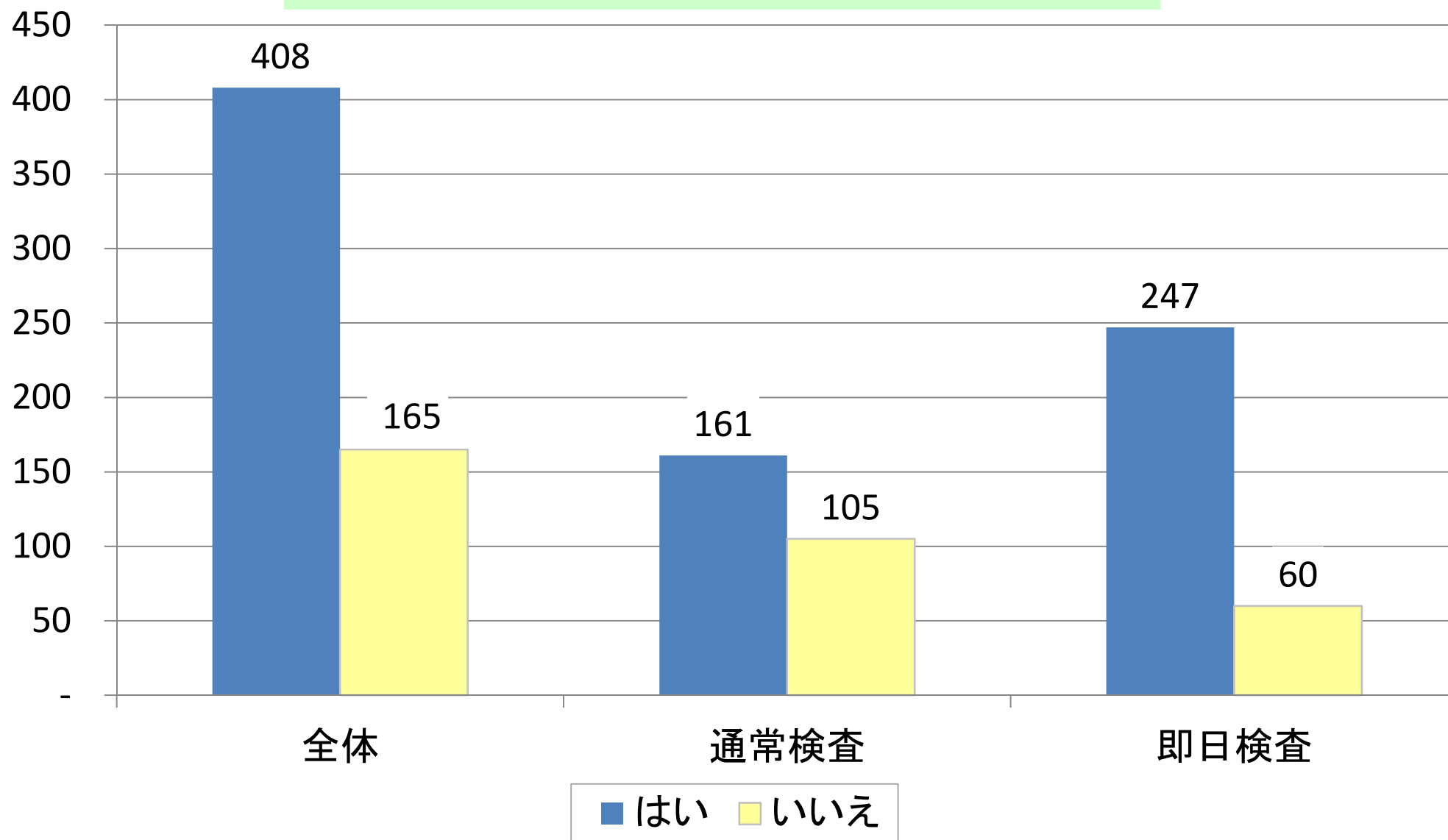


図17

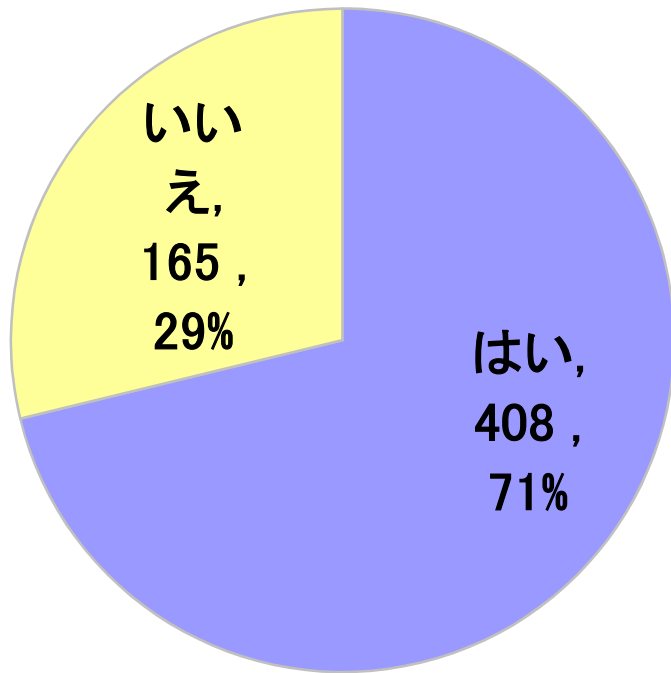
(2011年)

HIV検査が予約制か否か

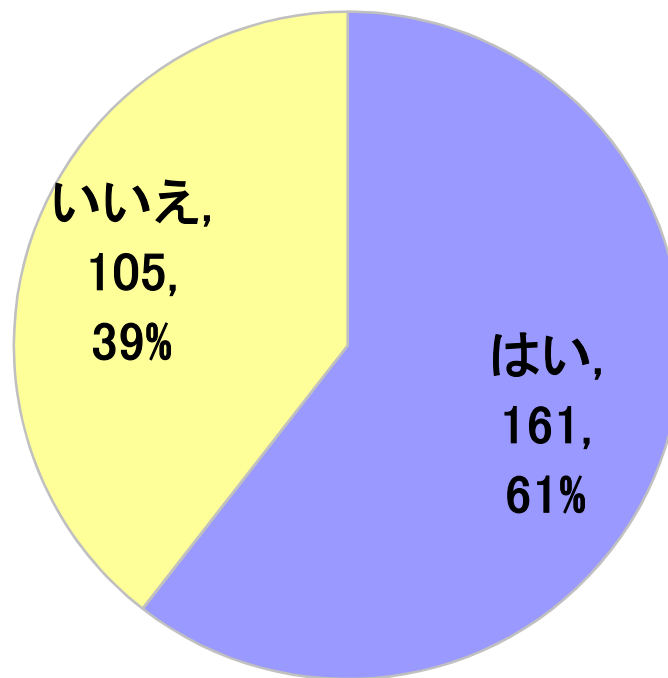


HIV検査が予約制か否か

(全体)



(通常検査)



(即日検査)

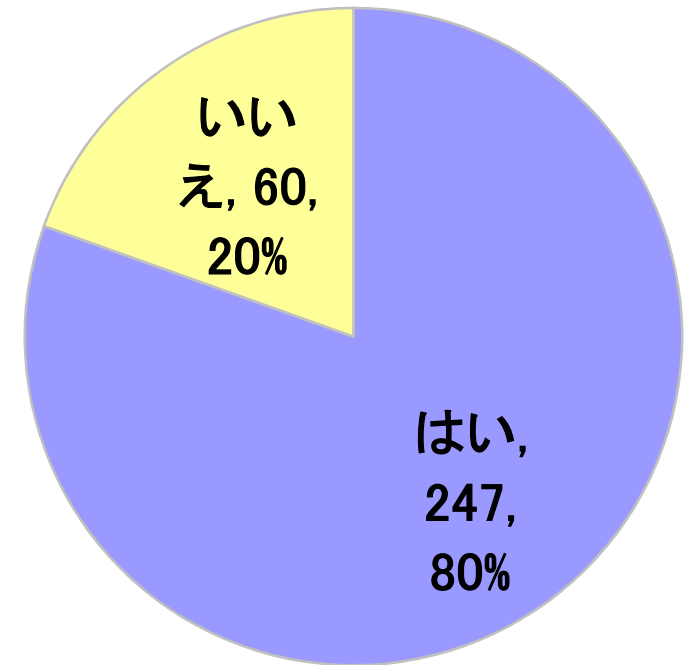


図19

(2011年)

予約制の場合上限があるか

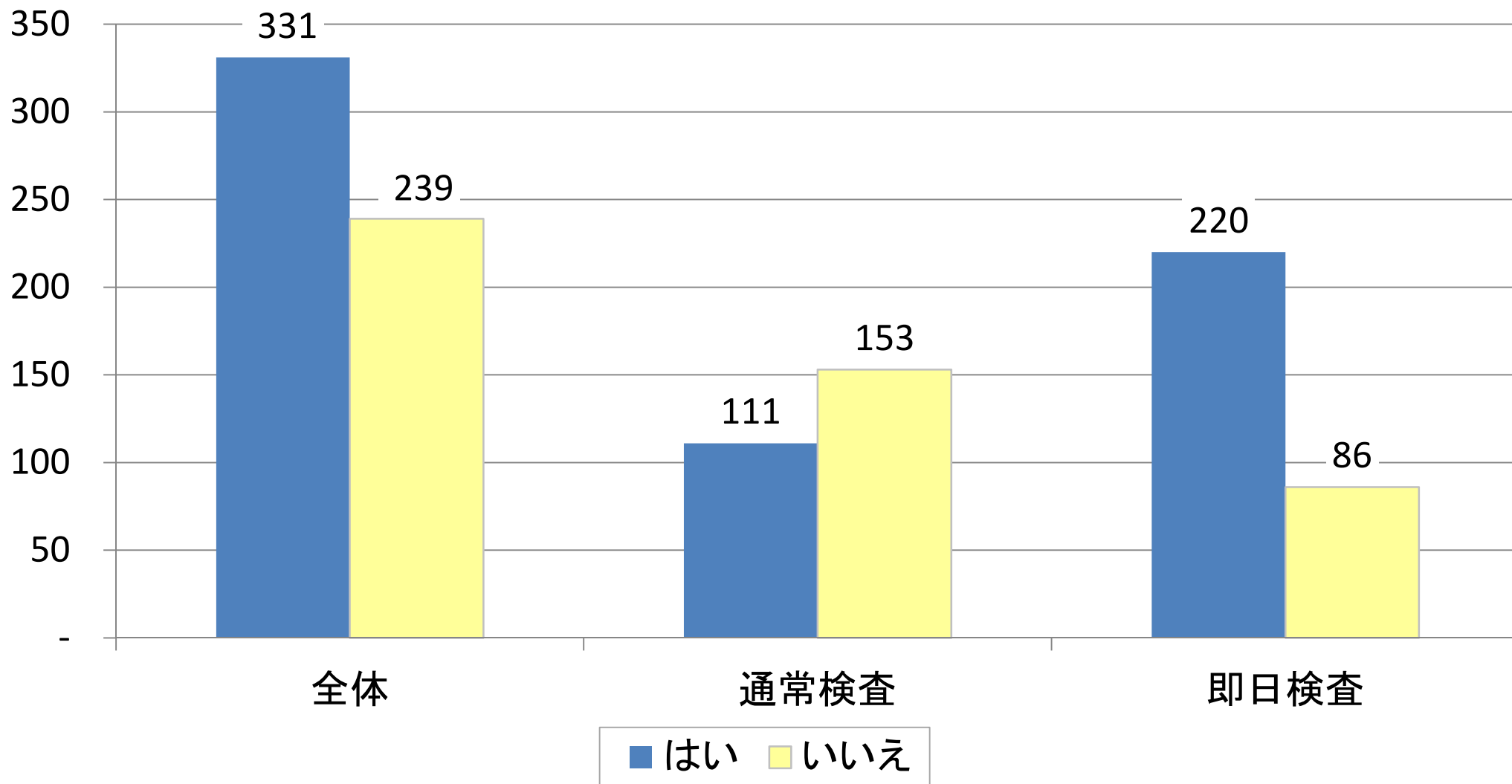
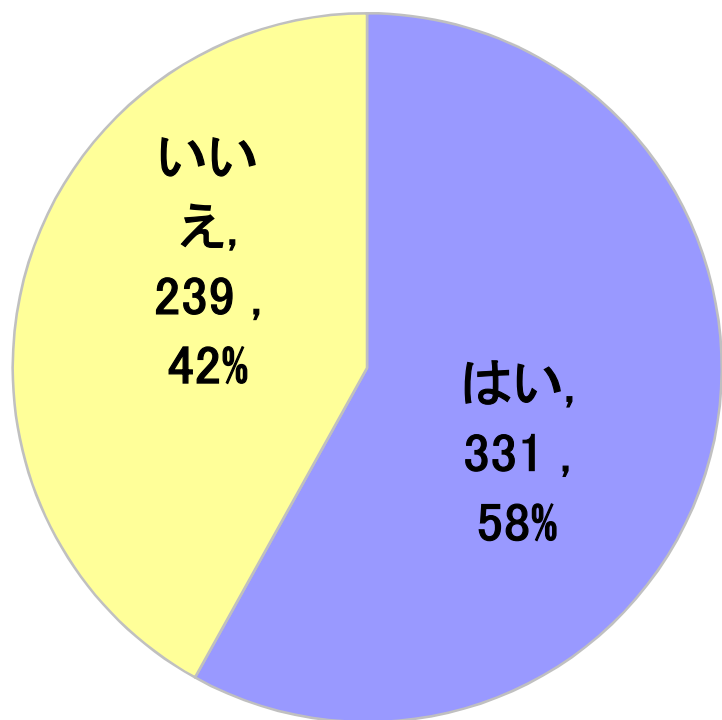


図20

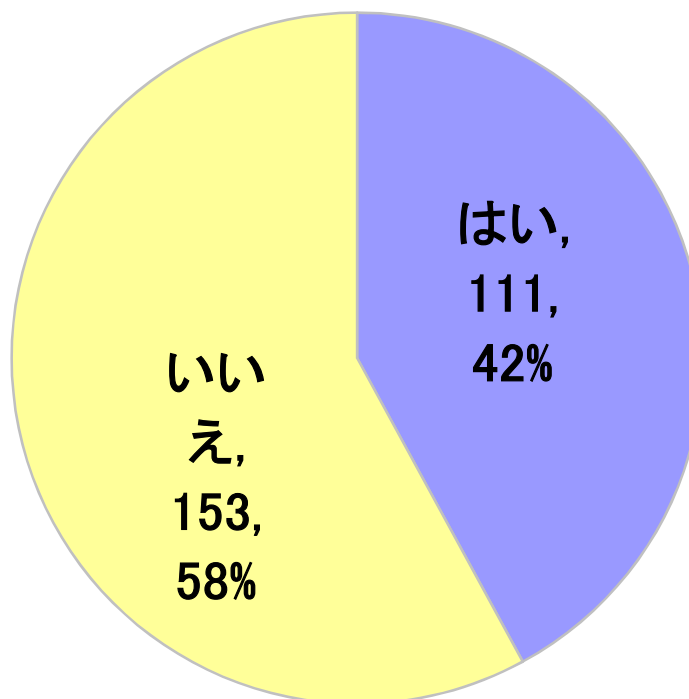
(2011年)

予約制の場合上限があるか

(全体)



(通常検査)



(即日検査)

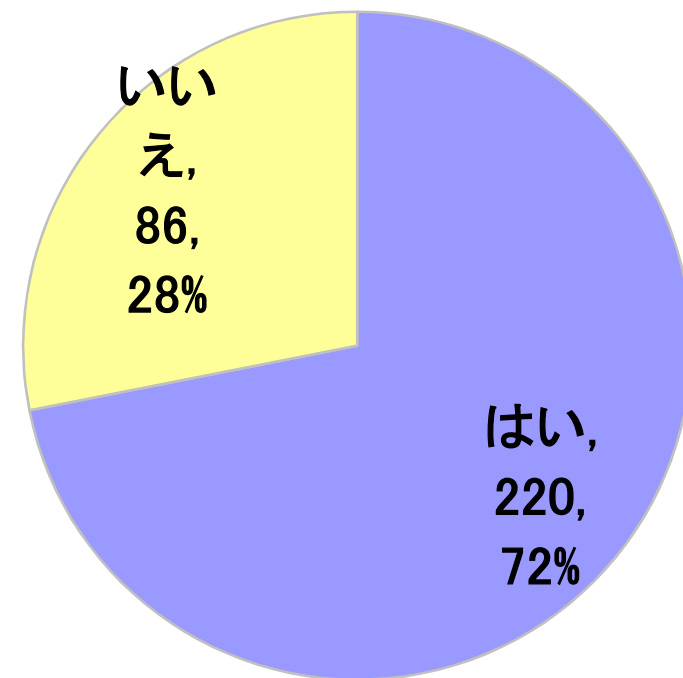


図21

保健所HIV検査

(2011年)

【 ~検査人数上限数~ 】

(通常検査)

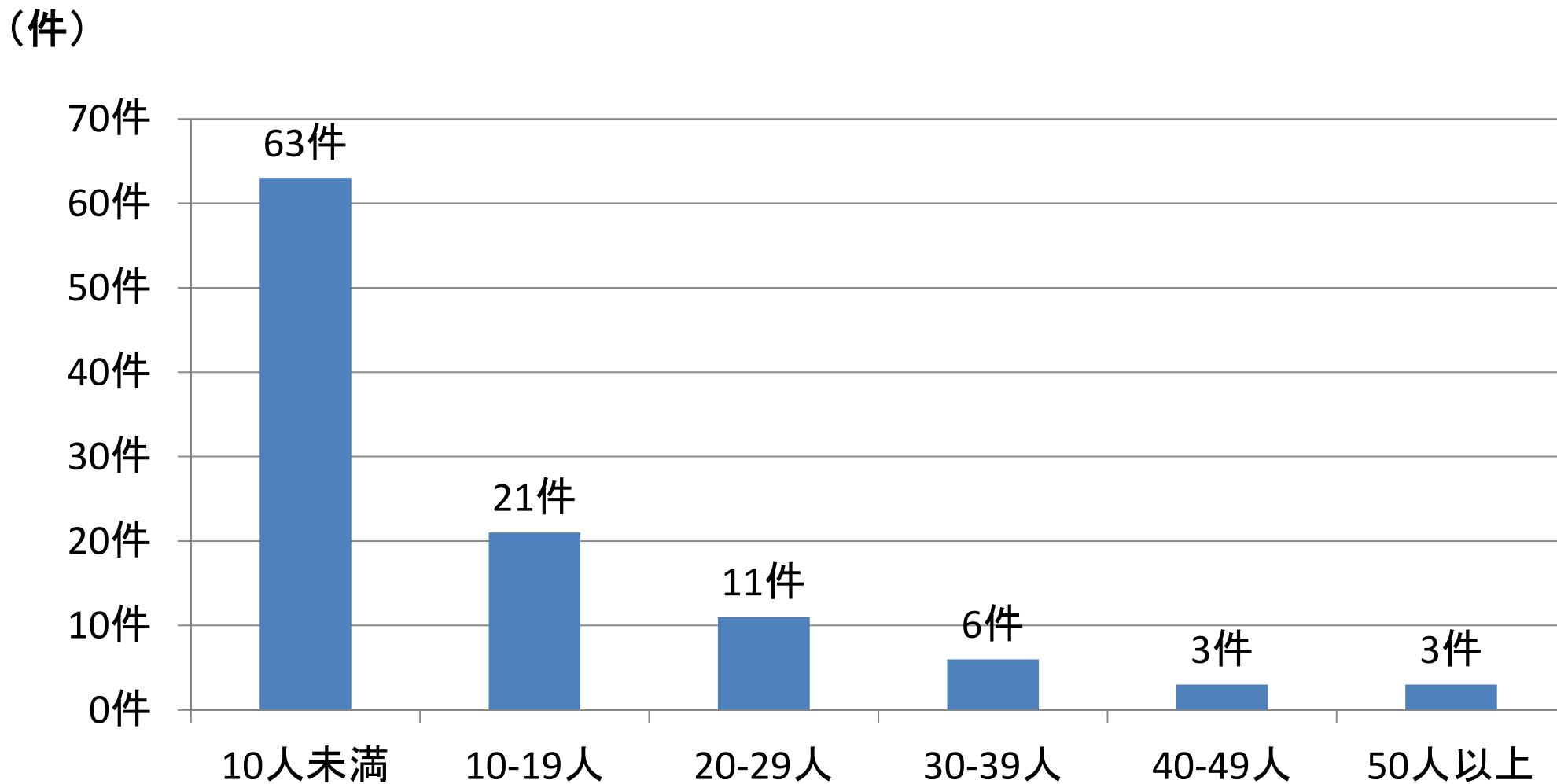


图22

保健所HIV検査

(2011年)

【 ~検査人数上限数~ 】

(即日検査)

(件)

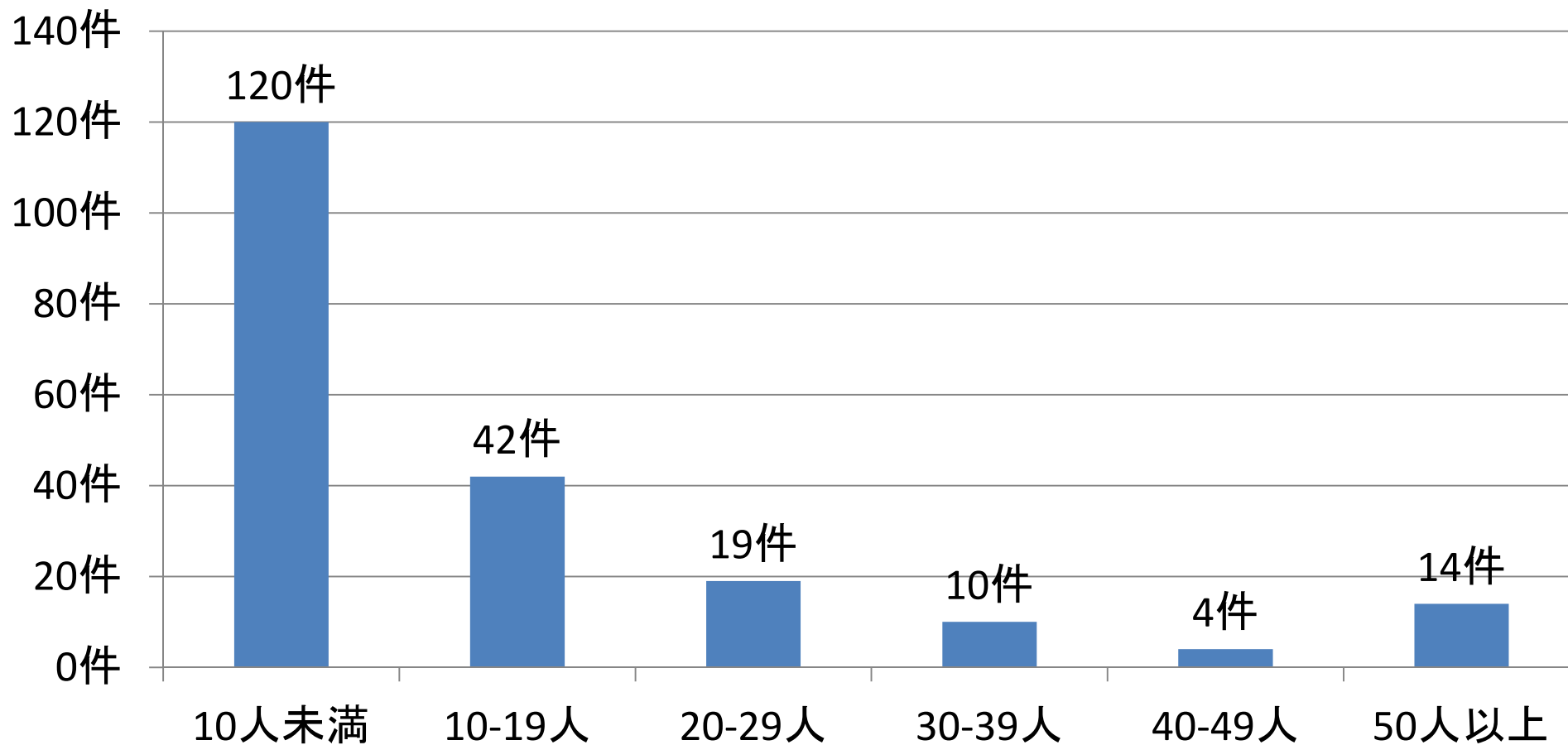


図23

受検者について把握している内容

(2011年)

(n=460)

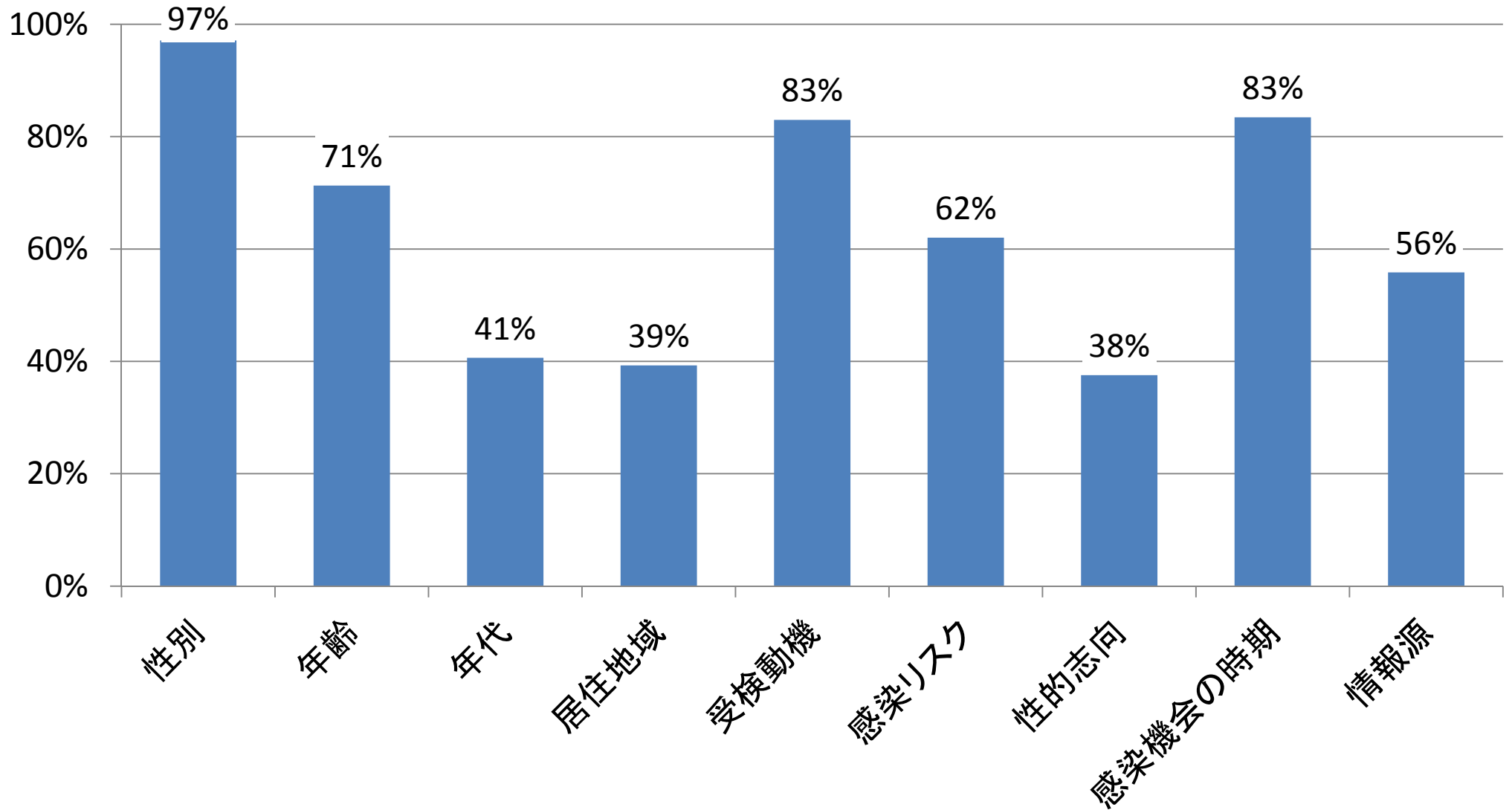


図24

事業の改善・見直しに
活用している内容
(2011年)
(n=198)

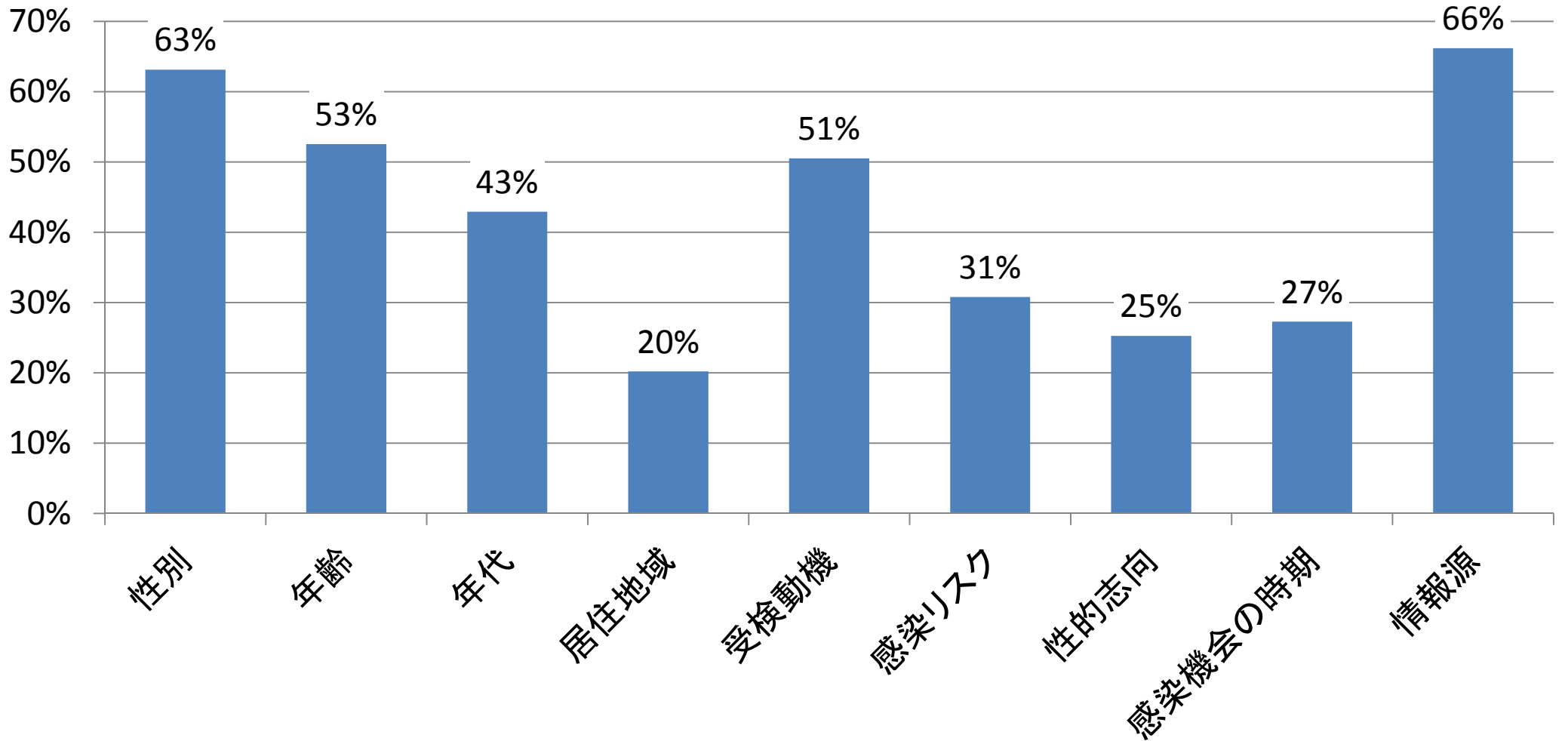


図25

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2011年)

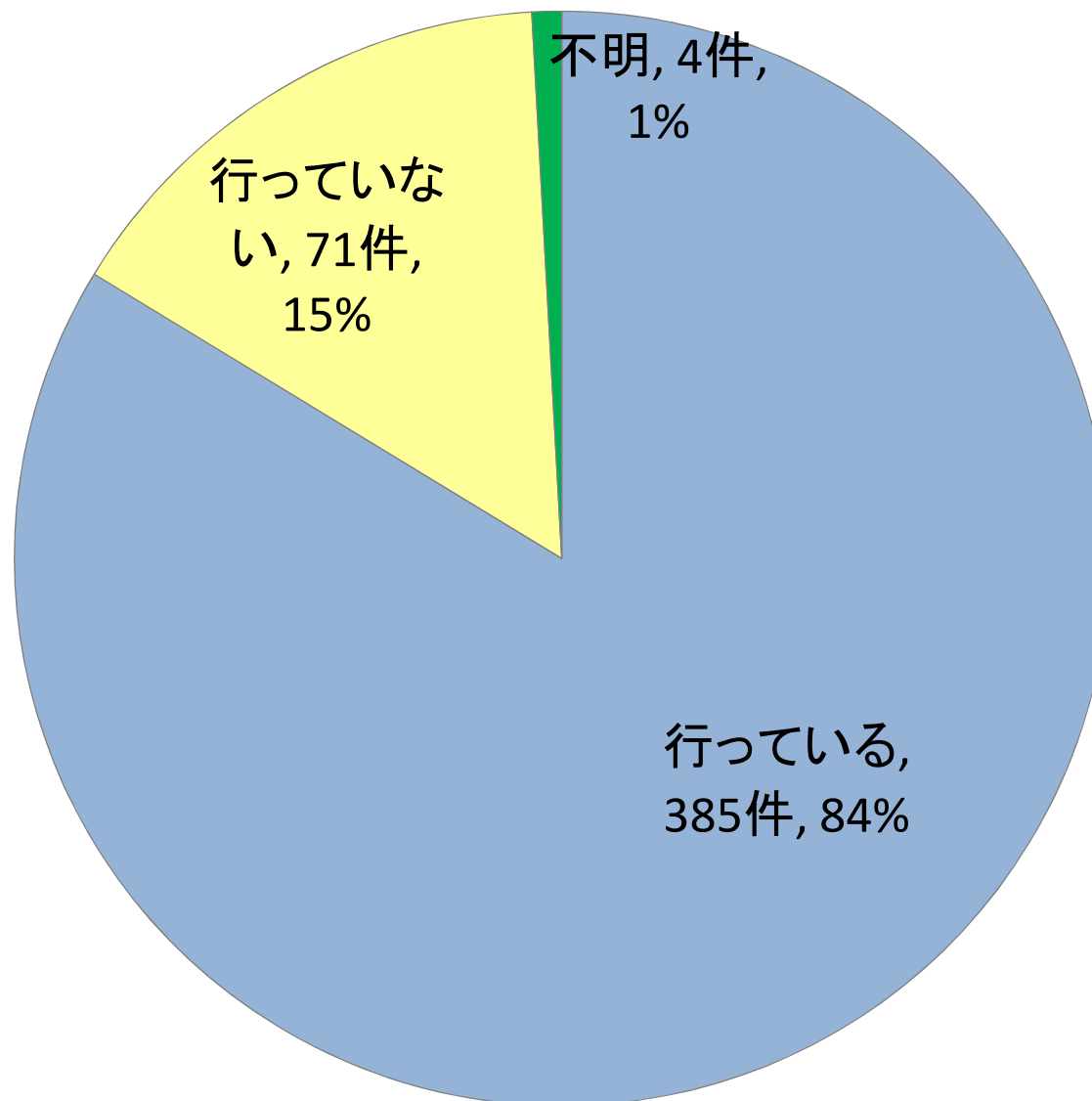


図26

HIV以外の性感染症検査を行っているか

(2011年)

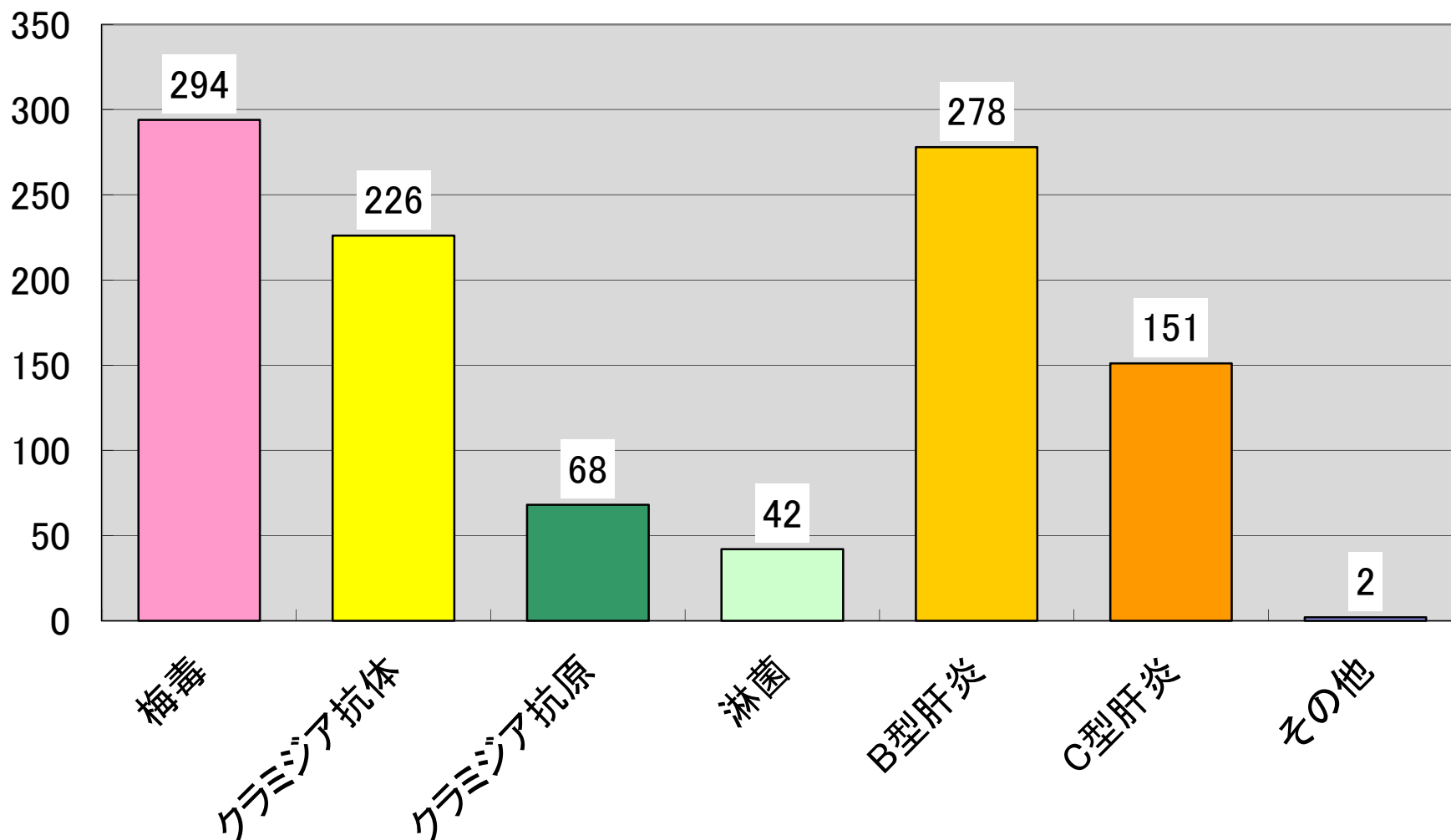


図27

(2011年)

確認検査で陽性の場合届出を行うか (全保健所)

(n=460)

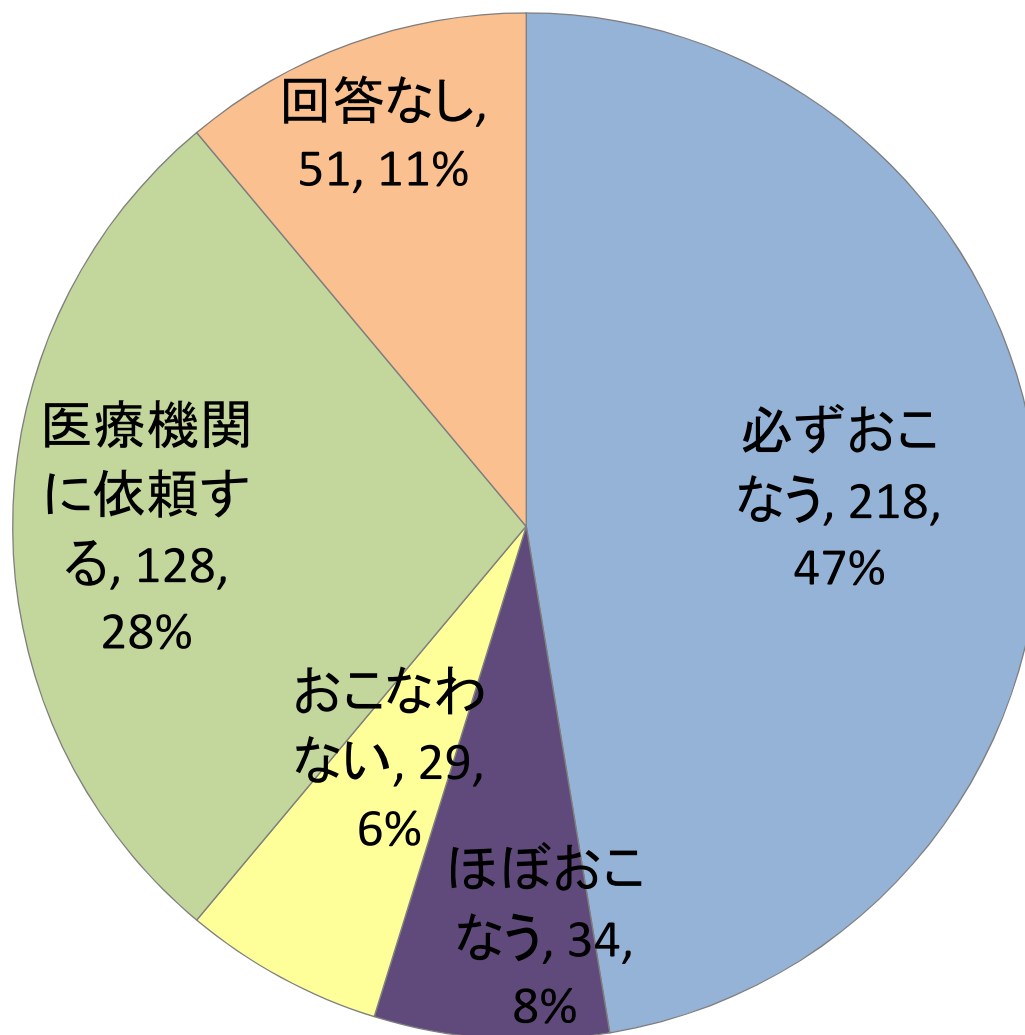


図28

(2011年)

確認検査で陽性の場合届出を行うか (陽性経験数)

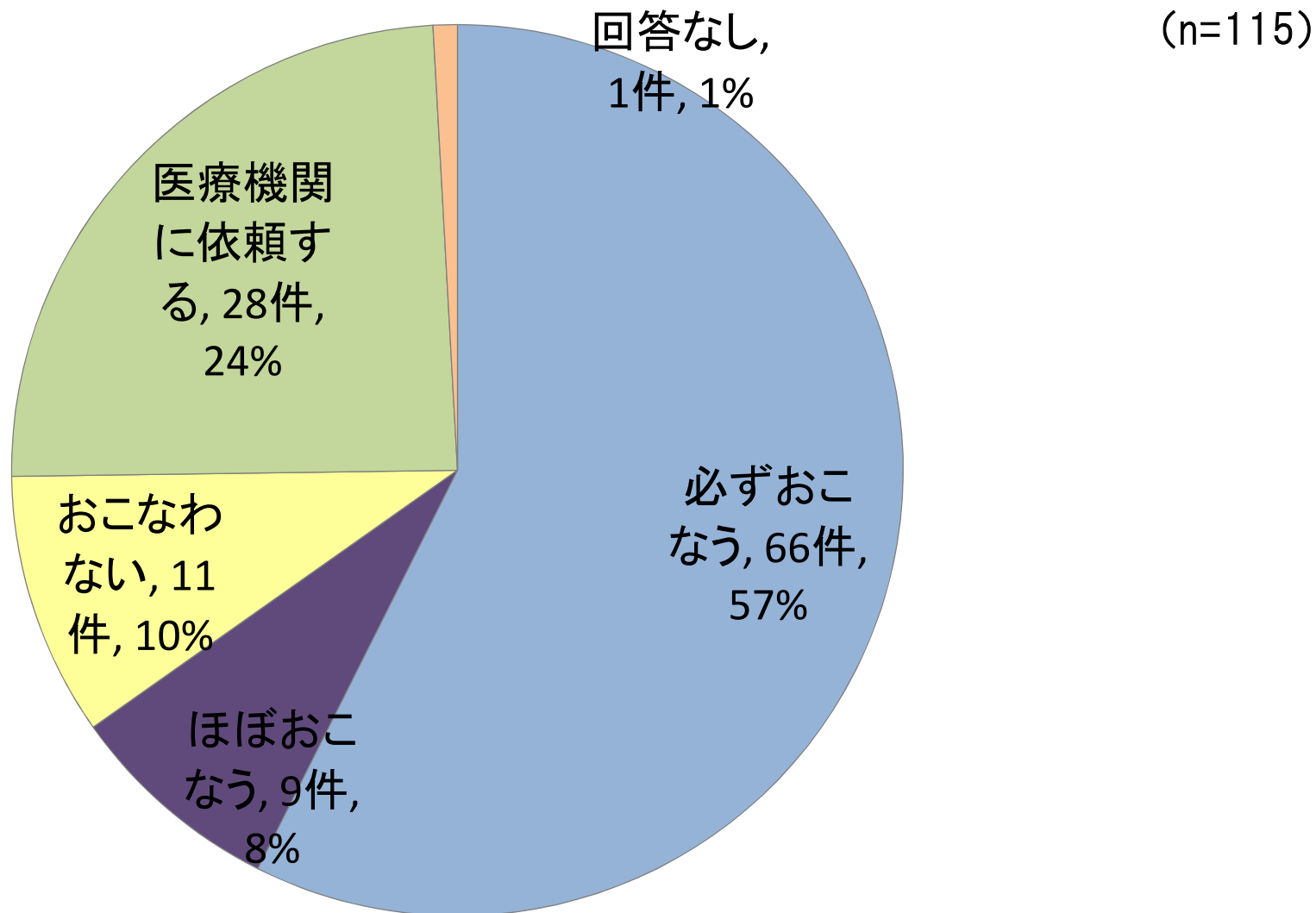


図29

(2011年)

保健所HIV検査

【確認検査の実施施設は？】

(通常検査)

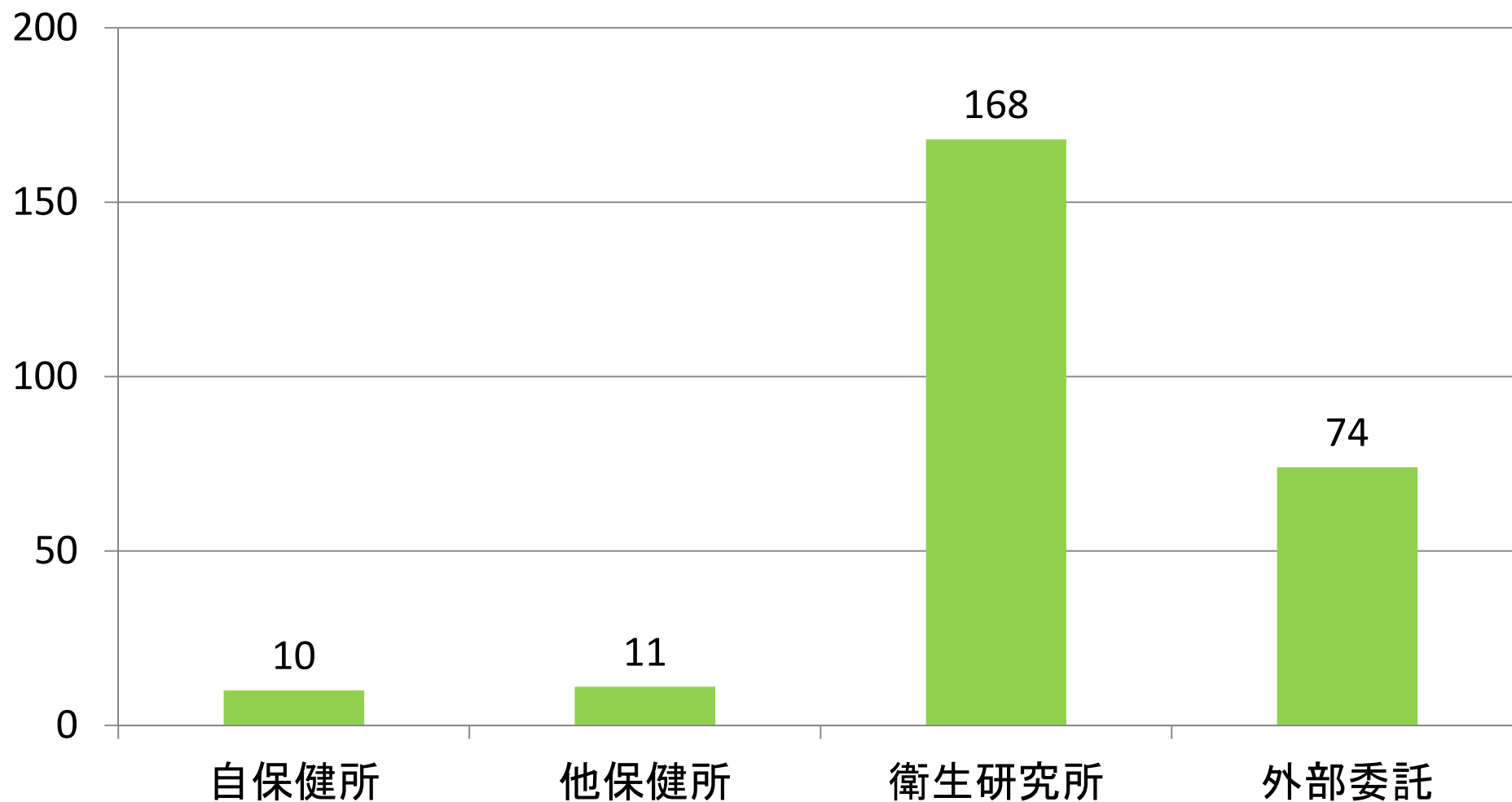


図30

(2011年)

保健所HIV検査 【スクリーニング検査の方法は？】 (通常検査)

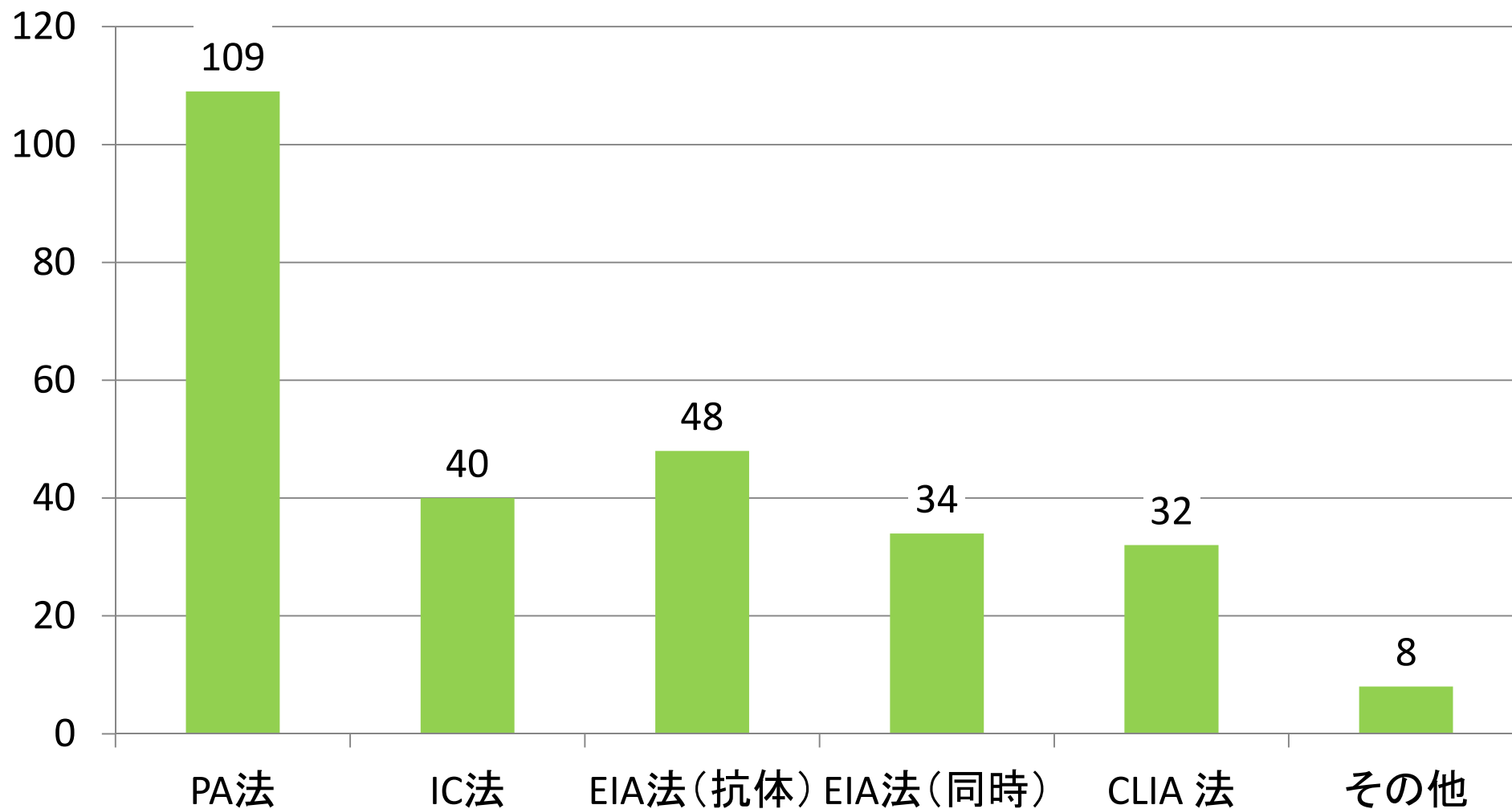
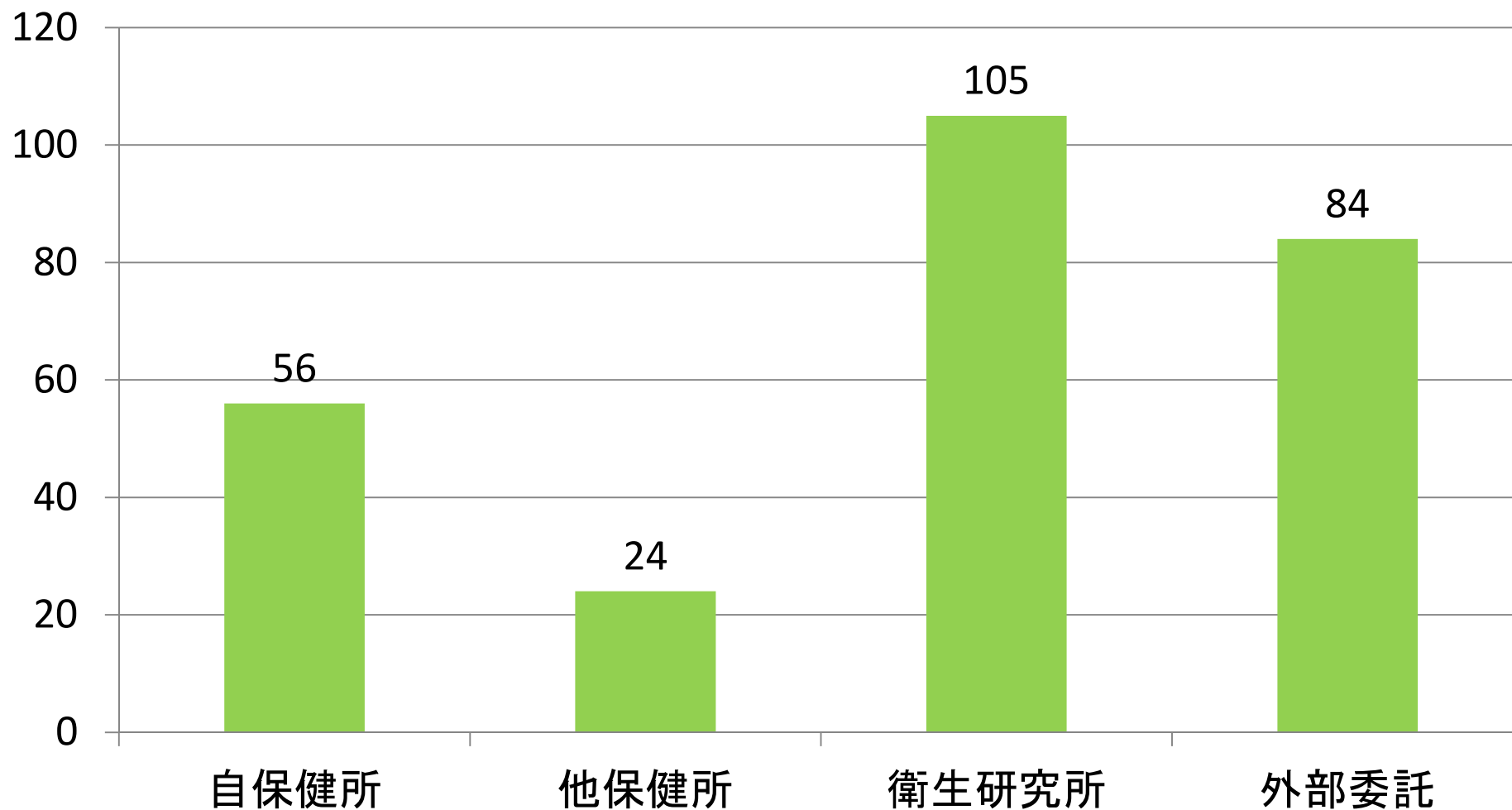


図31

(2011年)

保健所HIV検査 【スクリーニング検査の実施施設は？】 (通常検査)



保健所HIV検査 【迅速診断キットの実施施設は？】 (即日検査)

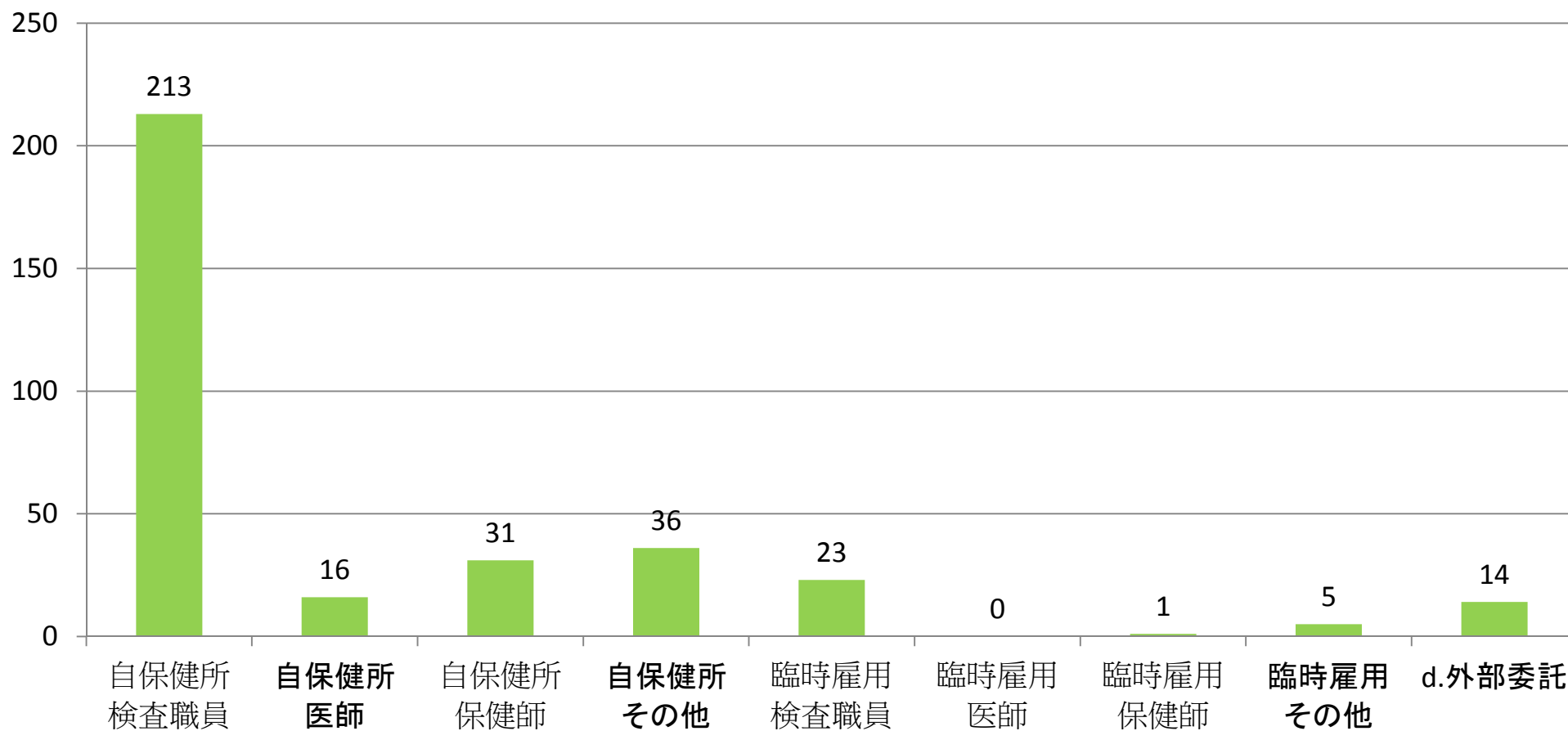


図33

(2011年)

保健所HIV検査 【確認検査の実施施設は？】 (即日検査)

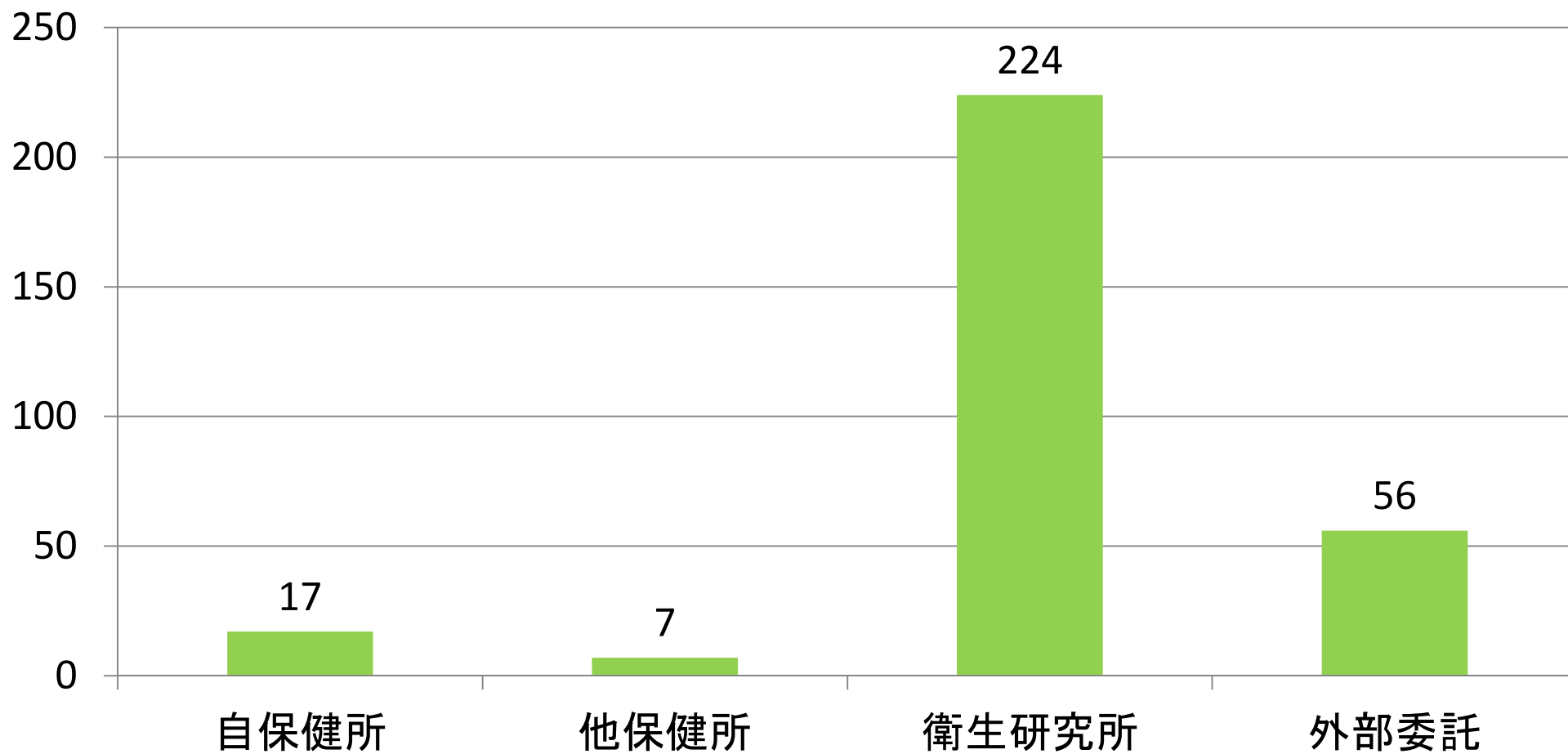


図34

(2011年)

プレカウンセリングを行っているか

(通常検査)

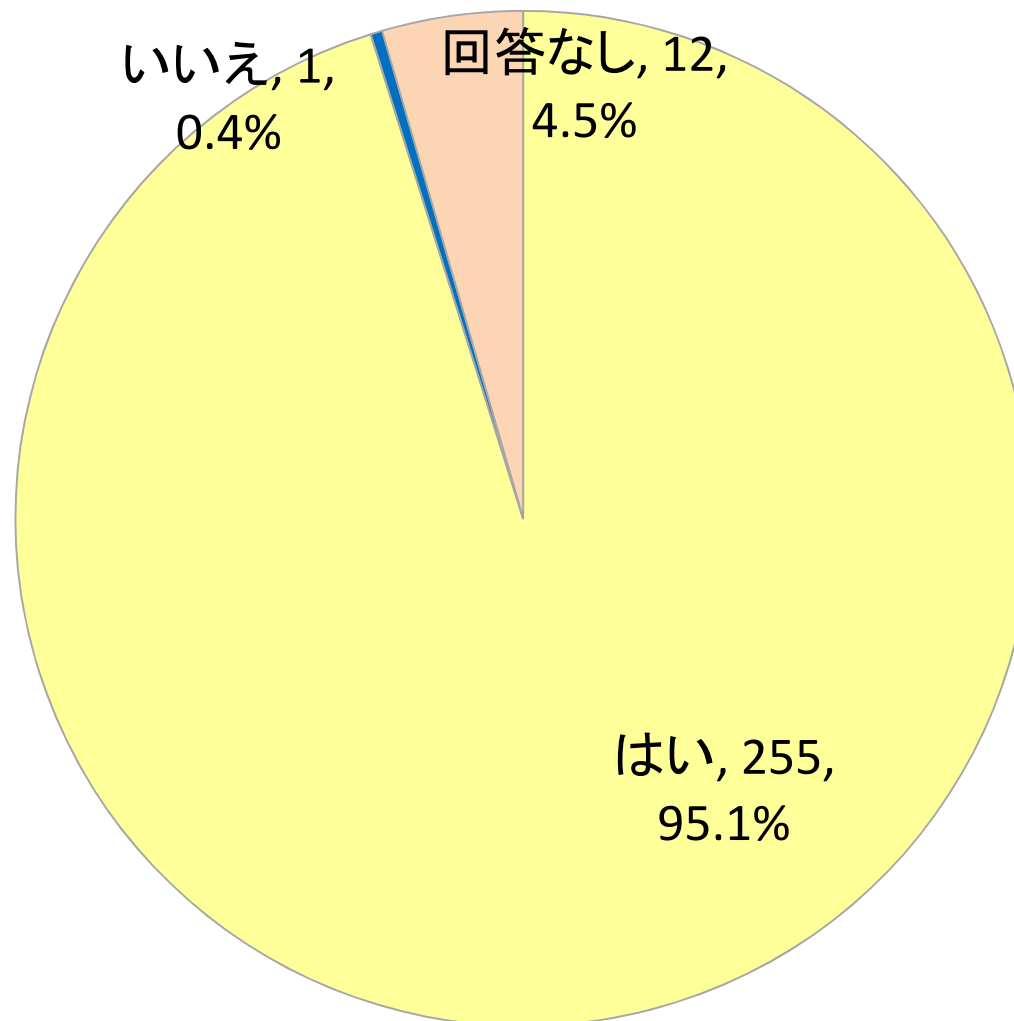


図35

(2011年)

プレカウンセリングを行っているか

(即日検査)

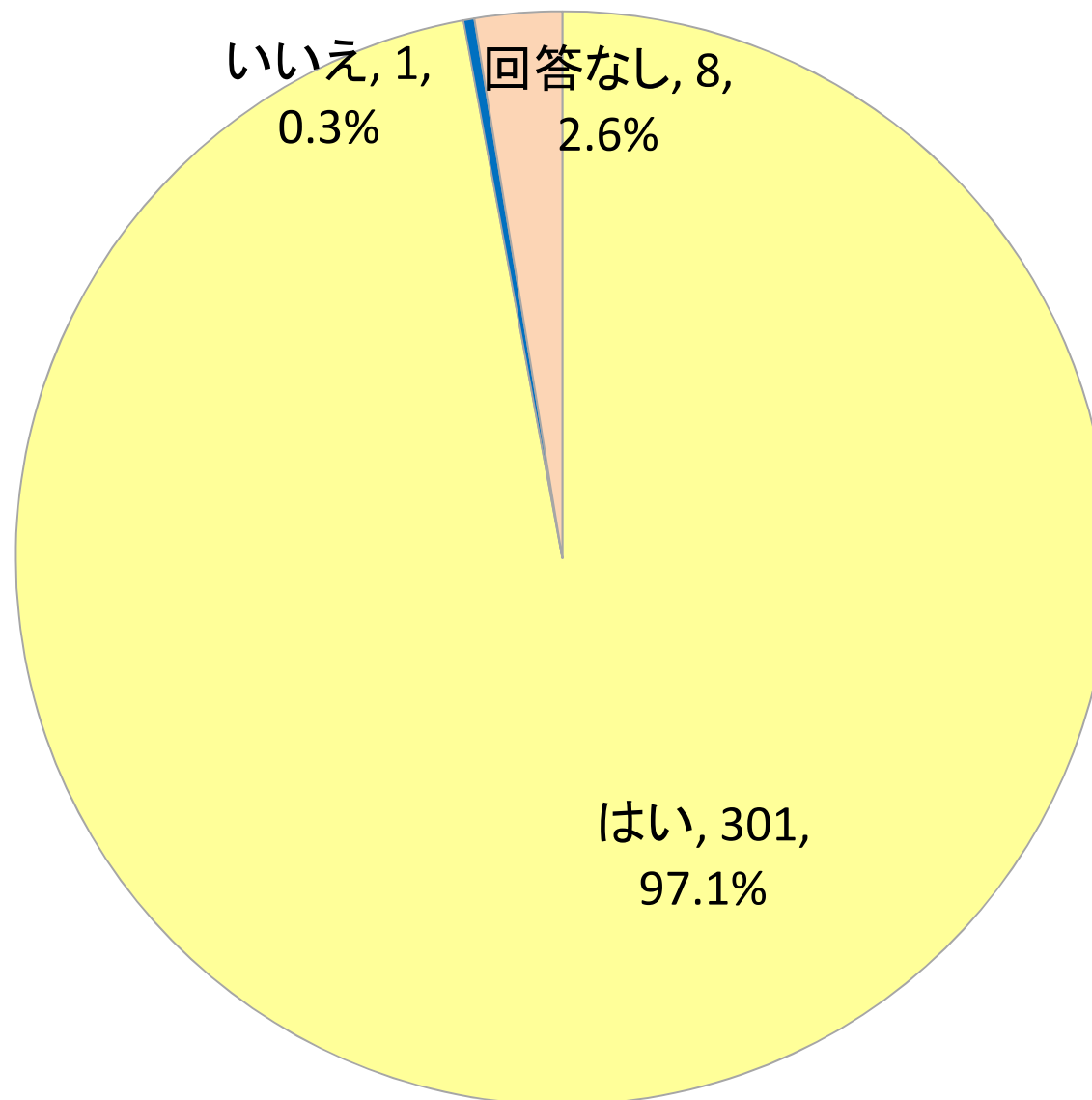


図36

(2011年)

結果説明時の担当者

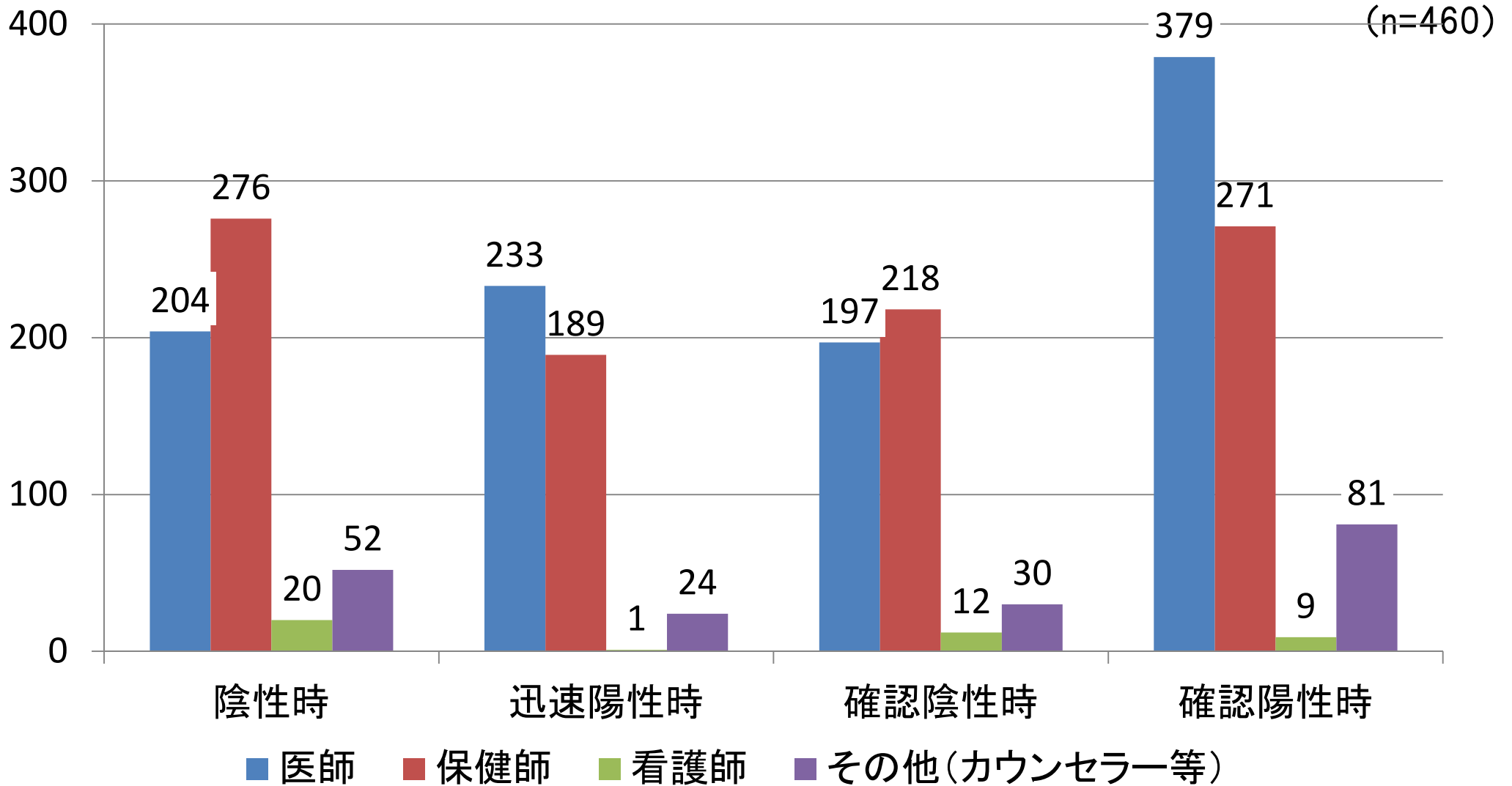


図37

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談をおこなっているか

(n=460)

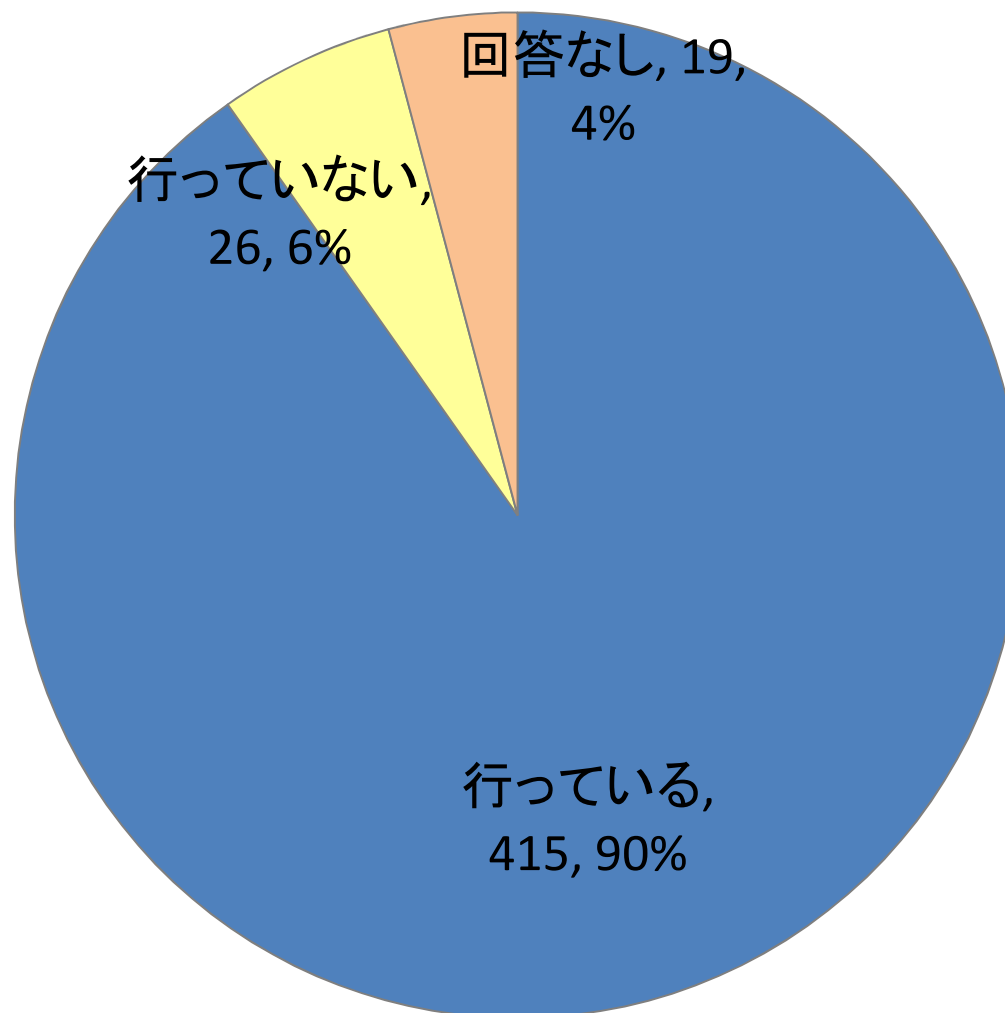


図38

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談の対象は

(n=415)

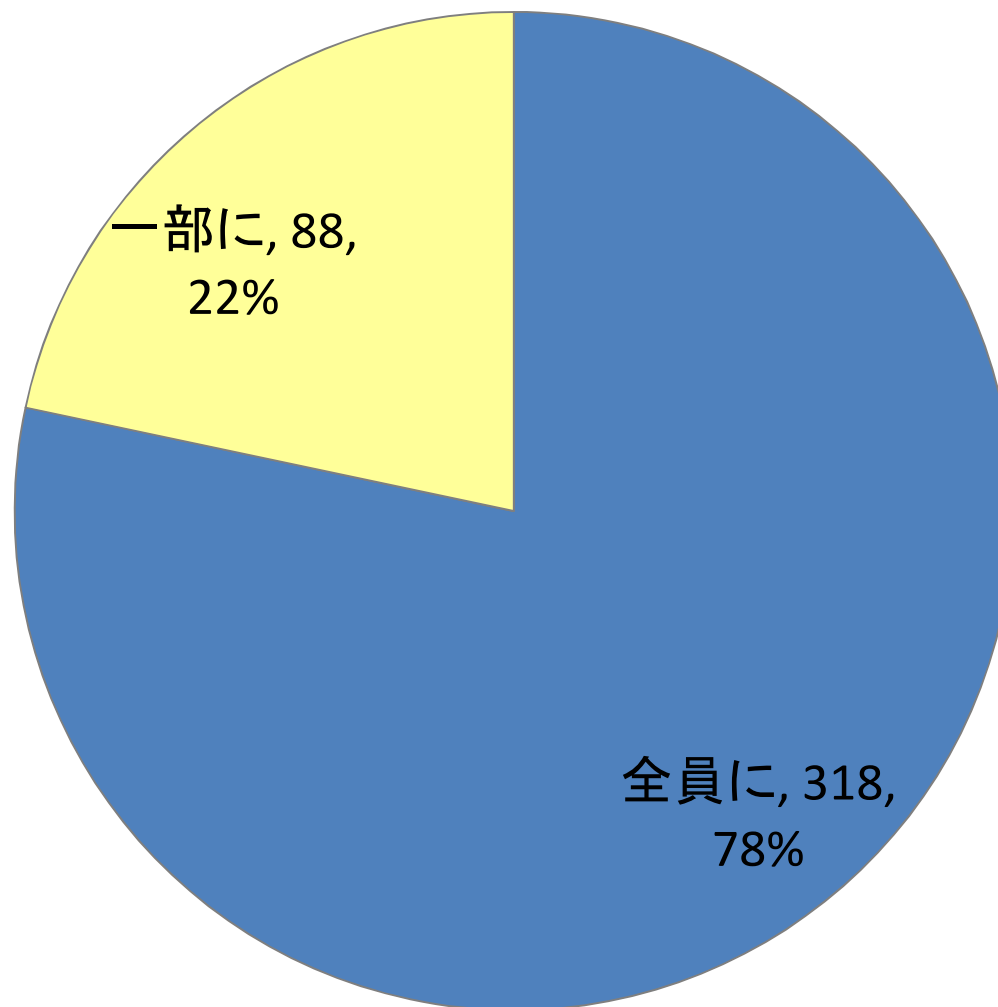


図39

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談の場面は

(n=415)

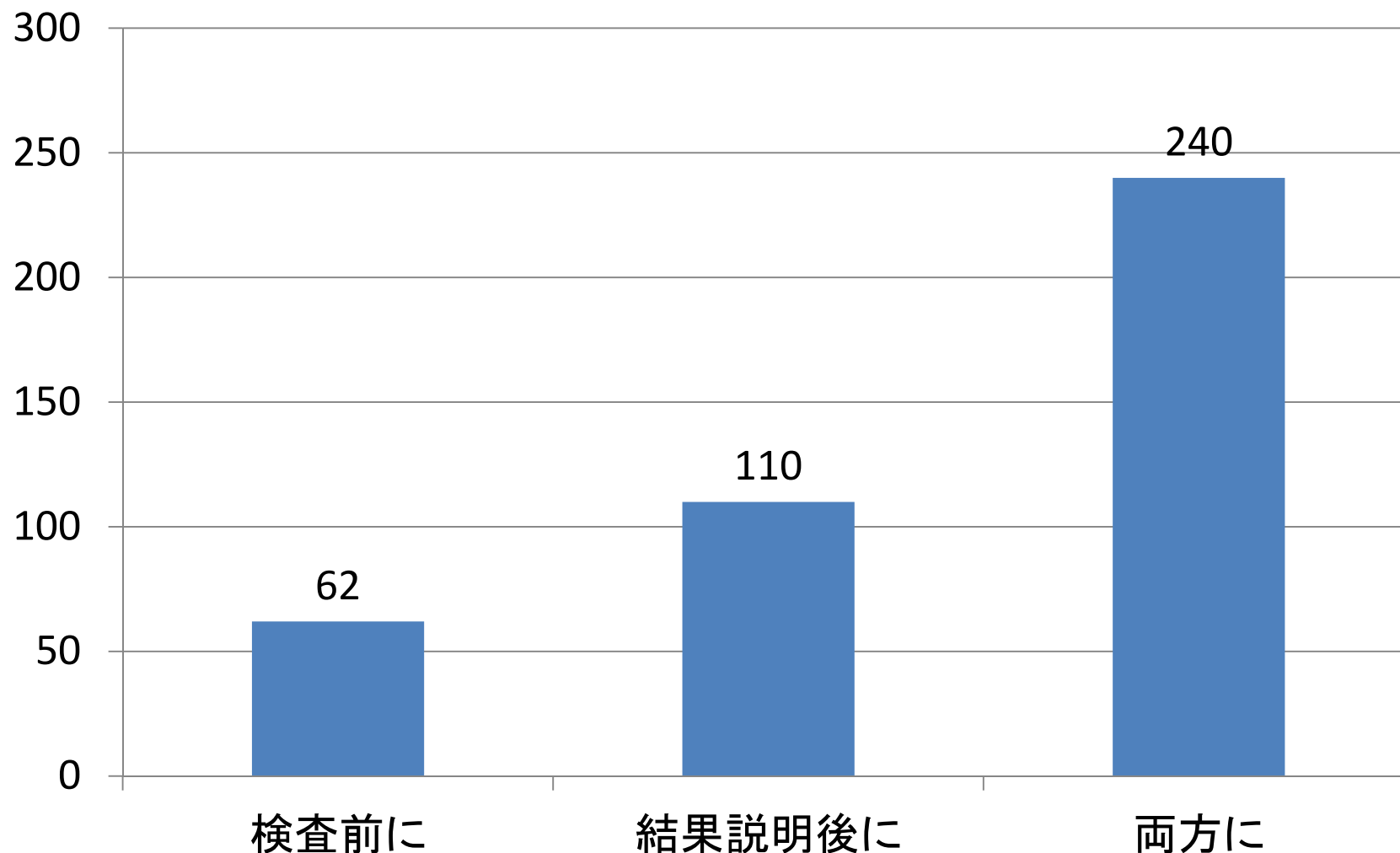


図40

(2011年)

感染予防のための行動変容を働きかける 相談の具体的手法は

(n=415)

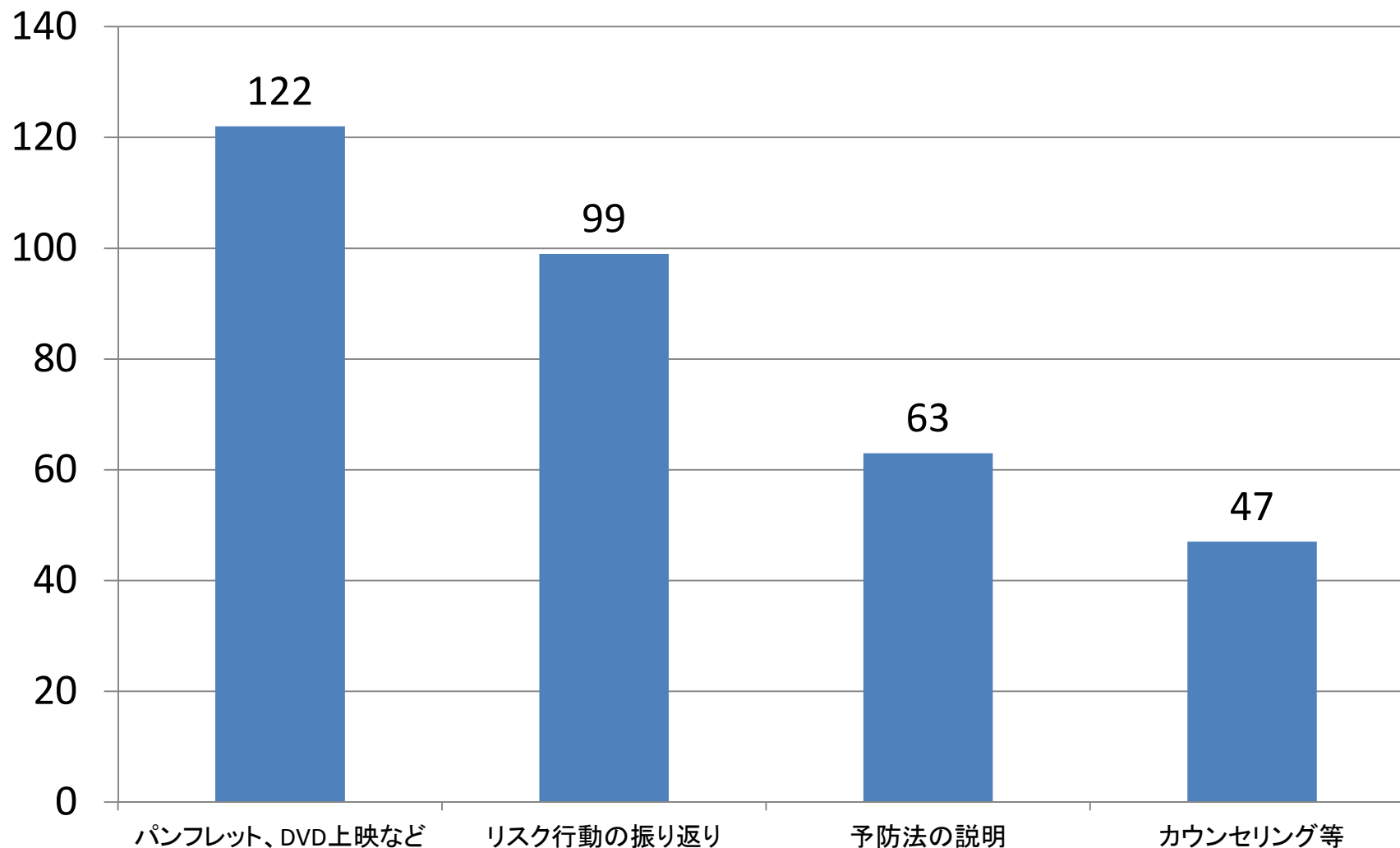


図41

(2011年)

対応困難者の経験はあるか

(n=460)

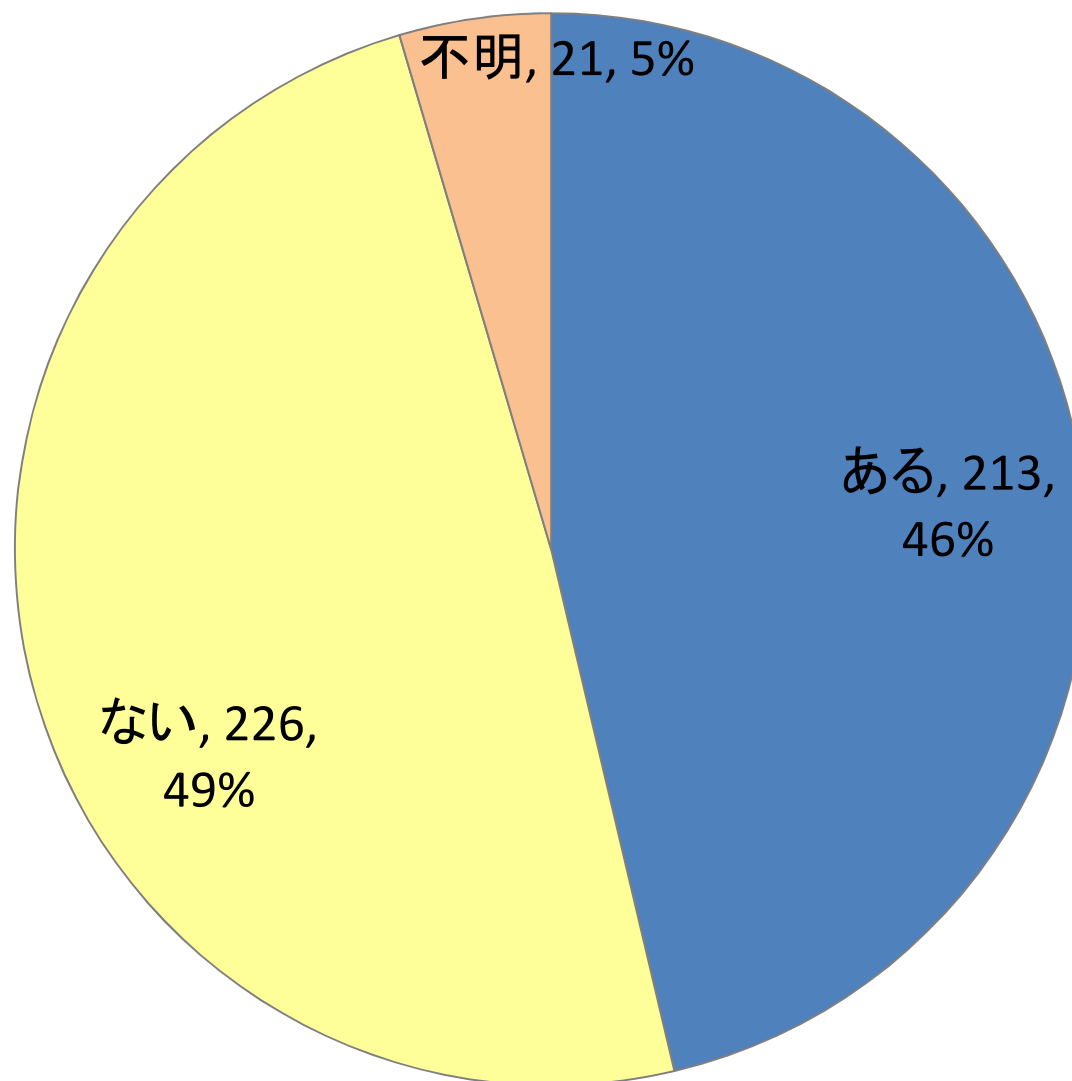


図42

(2011年)

対応困難者の紹介先はあるか

(n=460)

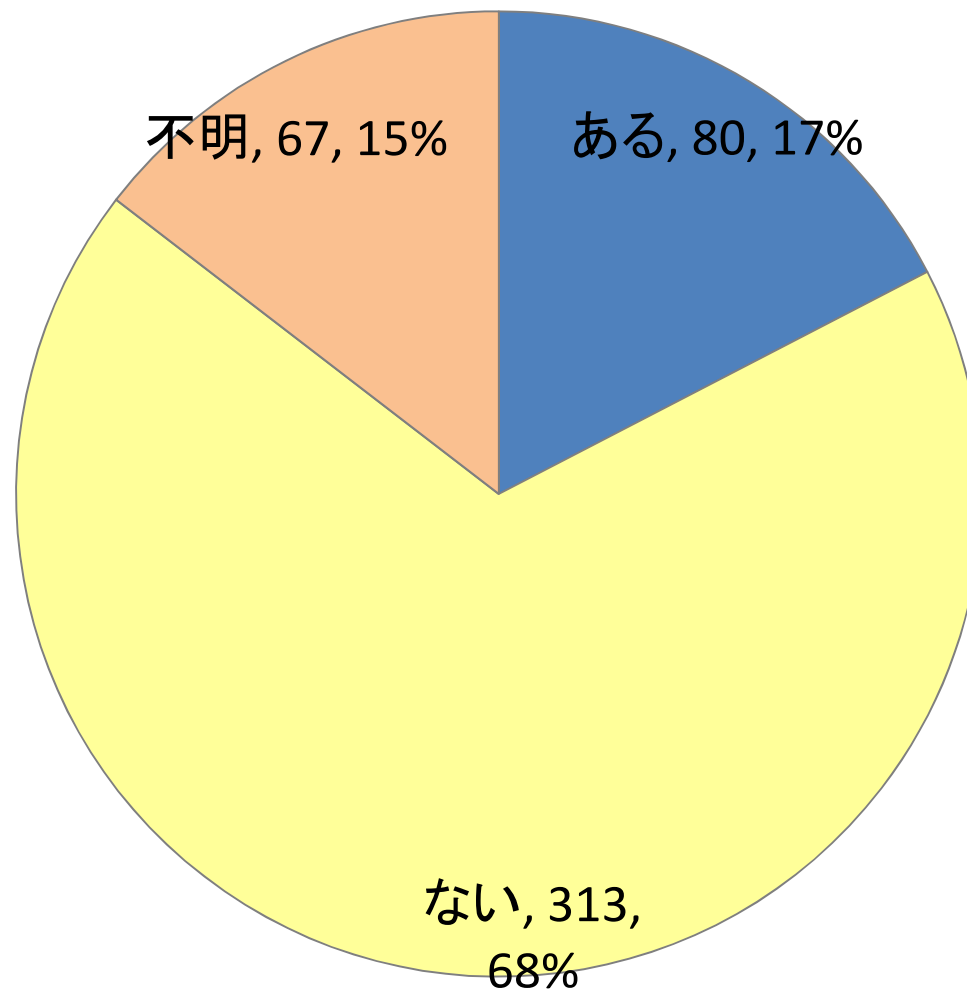


図43

(2011年)

対応困難者の紹介先はどこか

(n=80)

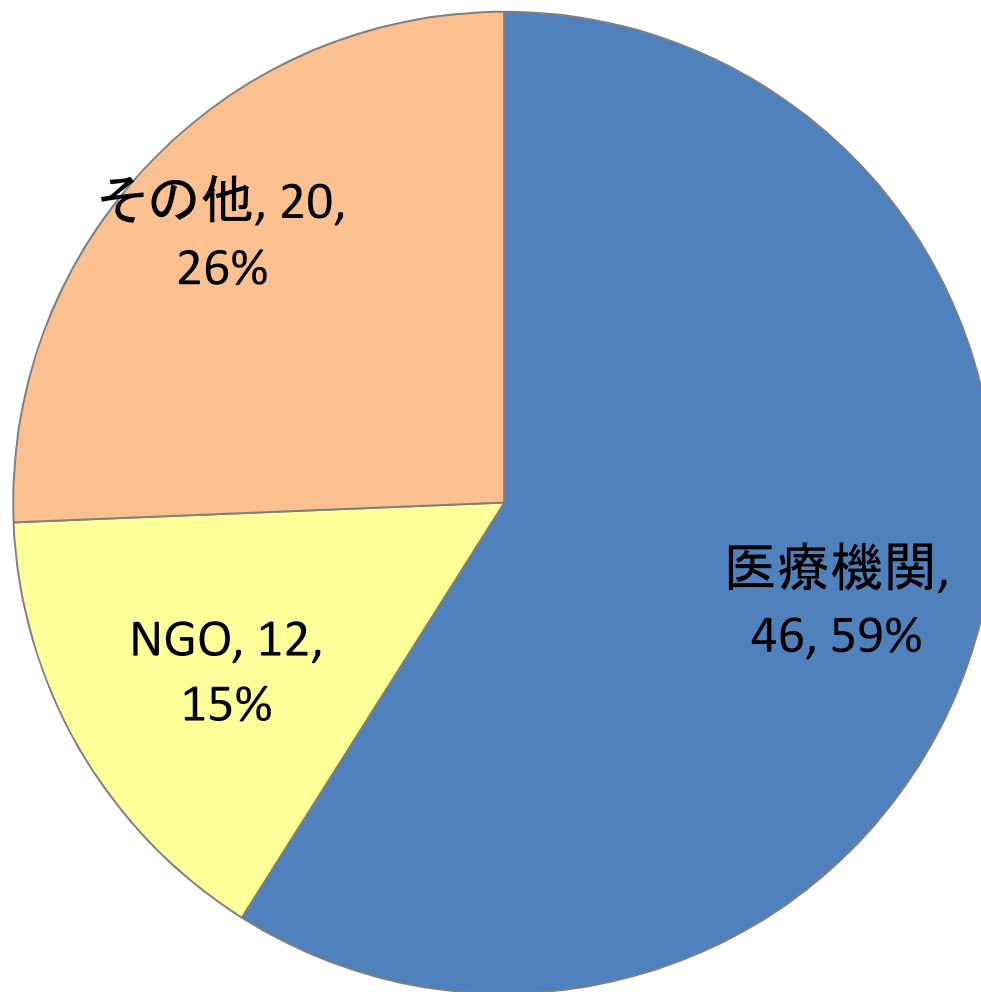


図44

(2011年)

陽性者への説明事項 マニュアルはあるか

(n=453)

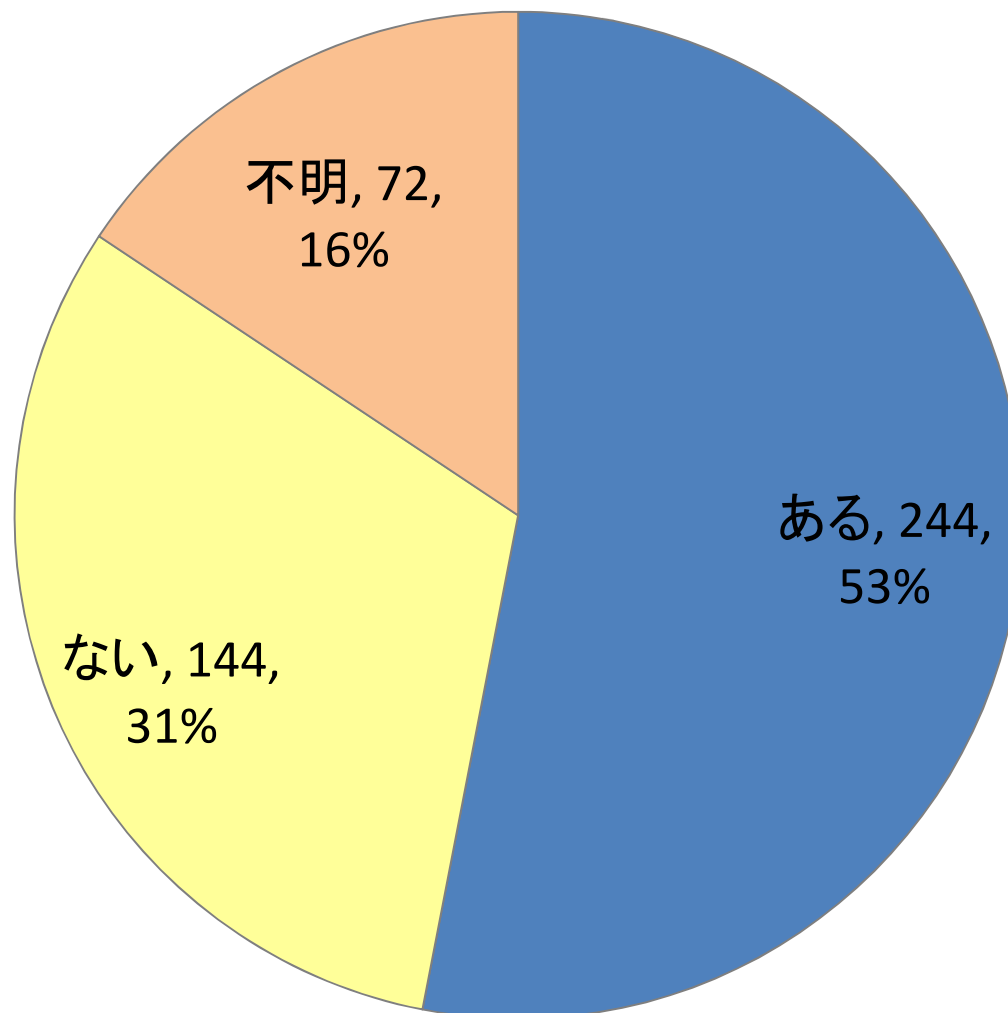


図45

(2011年)

陽性者への説明事項 説明資料はあるか

(n=453)

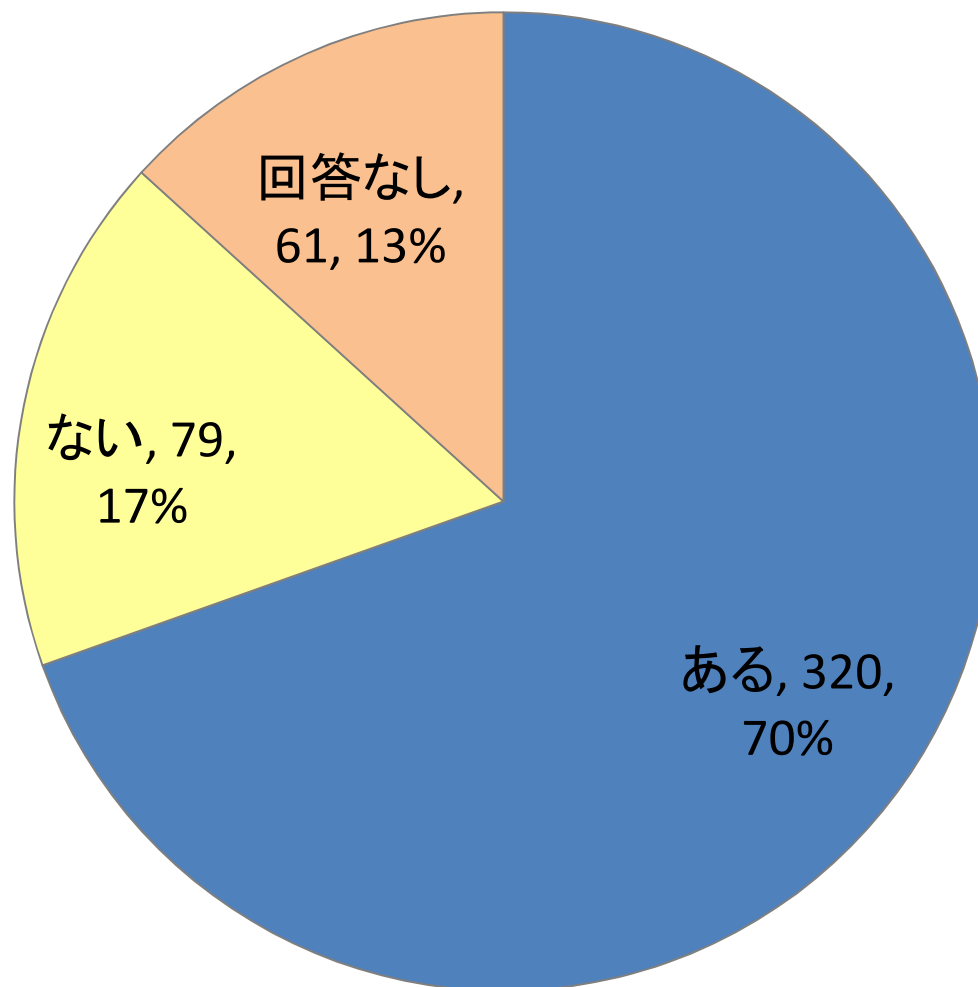


図46

陽性者への手渡し資料はあるか

(2011年)

(n=453)

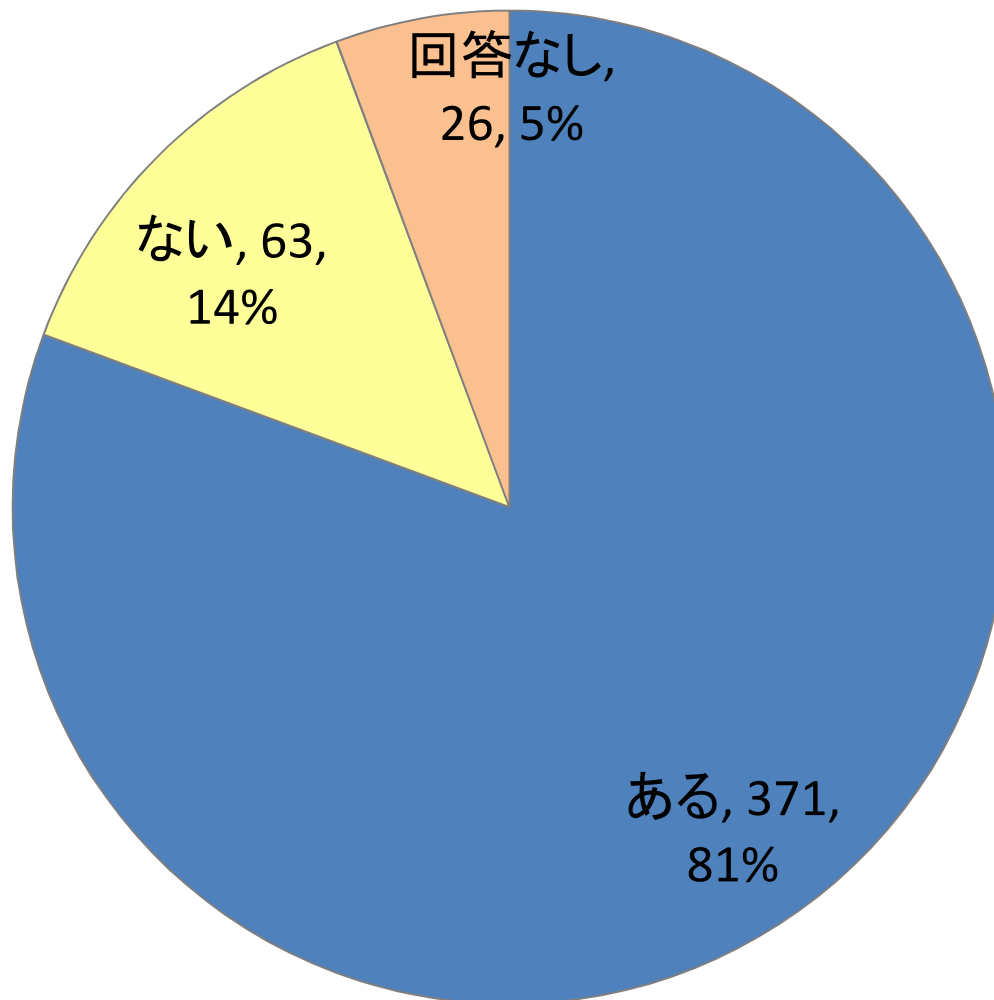


図47

未成年の検査希望者への 対応は

(2011年)

(n=453)

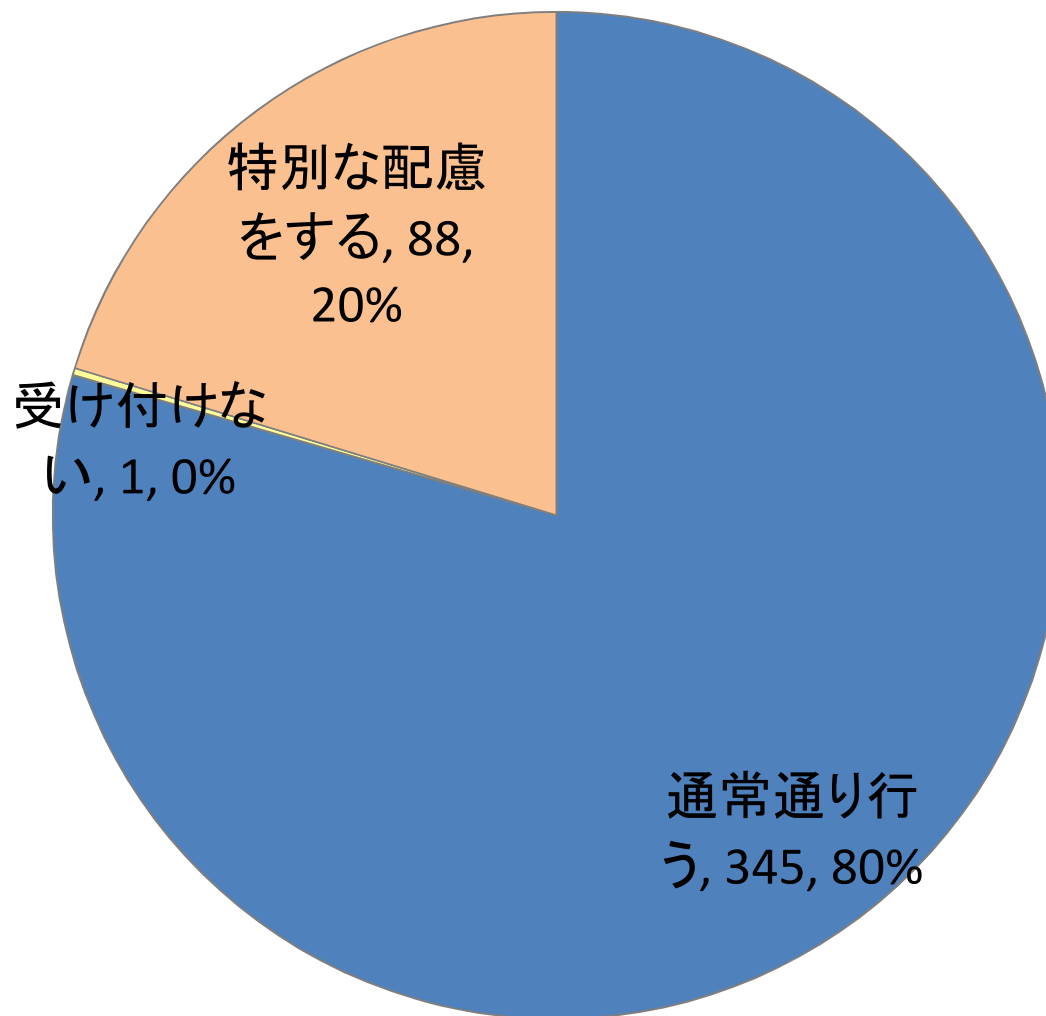
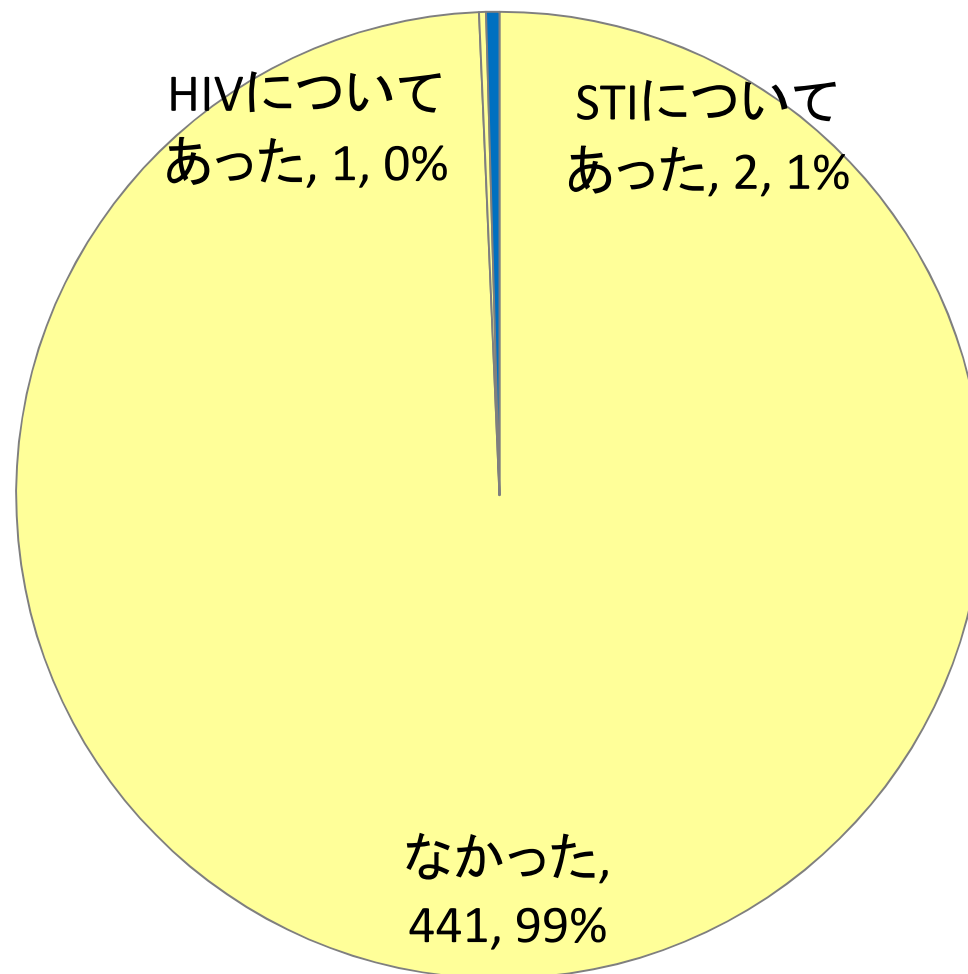


図48

(2011年)

検査結果について 誤通知があったか

(n=453)



保健所における HIV 検査体制に関する調査

1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

(n=461)

アンケート送付数

560

回収数

461

82%

はい	460件	99.8%
いいえ	1件	0.2%

「はい」と答えた保健所 → 平成23年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=460)

① HIV検査件数	検査数	84,404人
	うち陽性数	220人
	陽性率	0.26%

陽性経験数	陽性者があった保健所	115件	25.0%
	陽性者がなかった保健所	345件	75.0%

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数		検査件数		陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数
50件未満	166	36.1%	3,819	4.5%	6	0.16%	3.6%	6
50-99件	79	17.2%	5,491	6.5%	13	0.24%	16.5%	13
100-199件	84	18.3%	12,152	14.4%	33	0.27%	29.8%	25
200-499件	94	20.4%	28,056	33.2%	51	0.18%	41.5%	39
500-999件	25	5.4%	17,386	20.6%	64	0.37%	84.0%	21
1000件以上	12	2.6%	17,500	20.7%	53	0.28%	91.7%	11
	460	1	84404	1	220	0.29215	2.669881	115

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: **1,496人 (1.77%)**

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

0.79253

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	82,702人	98.2%	206人	93.6%
結果を聞きにこなかった	1,482人	1.8%	14人	6.4%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所	
ある	248	53.9%	84件	73.0%
ない	193	42.0%	30件	26.1%

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: **146人 (66.4%)**

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数 **166人 (75.5%)**

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	385件	83.7%
行っていない	71件	15.4%
不明	4件	0.9%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください。(n=385)

梅毒	294	76.4%
クラミジア抗体	226	58.7%
クラミジア抗原	68	17.7%
淋菌	42	10.9%
B型肝炎	278	72.2%
C型肝炎	151	39.2%
その他	2	0.5%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=460)

通常検査のみ	150	32.6%
即日検査のみ	185	40.2%
通常+即日	125	27.2%

平日昼のみ検査	231	50.2%
平日夜間検査	162	35.2%
土日検査	67	14.6%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

通常のみ+平日昼のみ	110	23.9%
通常のみ+夜間も行っている	35	7.6%
通常+土日検査も	5	1.1%
即日のみ+平日昼のみ	85	18.5%
即日のみ+夜間も行っている	69	15.0%
即日+土日検査も	31	6.7%
通常+即日・平日昼のみ	36	7.8%
通常+即日・夜間も行っている	58	12.6%
通常+即日・土日検査も	31	6.7%

② ア通常検査の場合 (n=268)

A. 予約制ですか？

はい	161	60.1%
いいえ	105	39.2%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=268)

はい	111	41.4%
いいえ	153	57.1%
回答なし	4	1.5%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数	12人	13人
10人未満	63件	120件
10-19人	21件	42件
20-29人	11件	19件
30-39人	6件	10件
40-49人	3件	4件
50人以上	3件	14件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	255	95.1%
いいえ	1	0.4%
回答なし	12	4.5%

D. 結果返しは？

1週間後	170	63.4%
2週間後	70	26.1%
その他	26	9.7%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	56	20.9%
他保健所	24	9.0%
衛生研究所	105	39.2%
外部委託	84	31.3%

F. スクリーニング検査の方法は？

PA法	109	40.7%
IC法	40	14.9%
EIA法(抗体)	48	17.9%
EIA法(抗体抗原)	34	12.7%
その他	40	14.9%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

G. 確認検査の実施施設は？

自保健所	10	3.7%
他保健所	11	4.1%
衛生研究所	168	62.7%
外部委託	74	27.6%

H. 検査用政治の結果通知と確認検査検体は？

a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する	11	4.1%
b. スクリーニング検査の残検体で確認検査まで実施し、受検者には確認検査結果を通知する	230	85.8%
その他	21	7.8%

② イ即日検査の場合 (n=310)

A. 予約制ですか？

はい	247	79.7%
いいえ	60	19.4%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	220	71.0%
いいえ	86	27.7%

3089
14.041

上限がある場合、平均人数と分布

平均数	13人
10人未満	120件
10-19人	42件
20-29人	19件
30-39人	10件
40-49人	4件
50人以上	14件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	301	97.1%
いいえ	1	0.3%
回答なし	8	2.6%

D. 迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	165	53.2%
2週間後	99	31.9%
その他	37	11.9%
不明	9	2.9%

E. 迅速診断キットの検査実施は？

a. 自保健所 検査職員	213	68.7%
a. 自保健所 医師	16	5.2%
a. 自保健所 保健師	31	10.0%
a. 自保健所 その他	36	11.6%
c. 臨時雇用 検査職員	23	0.0%
c. 臨時雇用 医師	0	0.3%
c. 臨時雇用 保健師	1	1.6%
c. 臨時雇用 その他	5	4.5%
d. 外部委託	14	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	17	5.5%
他保健所	7	2.3%
衛生研究所	224	72.3%
外部委託	56	18.1%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	229	73.9%
確認検査用再採血	59	19.0%
血漿	8	2.6%
血清	42	13.5%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

③ 受検者について把握している内容は？

(n=460)

性別	440	95.7%
年齢	323	70.2%
年代	184	40.0%
居住地域	178	38.7%
受検動機	376	81.7%
感染リスク	281	61.1%
性的志向	170	37.0%
感染機会の時期	378	82.2%
情報源	253	55.0%
その他	74	16.1%

上記の内容について集計を行っていますか。

集計している	325	70.7%
集計していない	147	32.0%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

活用している	198	43.0%
活用していない	211	45.9%

活用している場合、その内容は？

(n=198)

性別	125	63.1%
年齢	104	52.5%
年代	85	42.9%
居住地域	40	20.2%
受検動機	100	50.5%
感染リスク	61	30.8%
性的志向	50	25.3%
感染機会の時期	54	27.3%
情報源	131	66.2%
その他	31	15.7%

④ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	432		274		315		392	
医師	204	47.2%	233	85.0%	197	62.5%	379	96.7%
保健師	276	63.9%	189	69.0%	218	69.2%	271	69.1%
看護師	20	4.6%	1	0.4%	12	3.8%	9	2.3%
その他(カウンセラー等)	52	12.0%	24	8.8%	30	9.5%	81	20.7%

B. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=460)

行っている	415	90.2%
行っていない	26	5.7%
回答なし	19	6.1%

対象は？

全員に	318	76.6%
一部に	88	21.2%

場面は？

検査前に	62	14.9%
結果説明後に	110	26.5%
両方に	240	57.8%

具体的手法は？

パンフレット、DVD上映など	122	29.4%
リスク行動の振り返り	99	23.9%
予防法の説明	63	15.2%
カウンセリング等	47	11.3%

保健所における HIV 検査体制に関する調査

C. 対応困難者の経験はありますか？

ある	213件	46.3%
ない	226件	49.1%
不明	21件	4.6%

対応困難者の紹介先はありますか？

ある	80件	17.4%
ない	313件	68.0%
不明	67件	14.6%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？

医療機関	46件	57.5%
NGO	12件	15.0%
その他	20件	25.0%

D. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	244件	53.0%
ない	144件	31.3%
不明	72件	15.7%

E. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=115)	
ある	320件	69.6%	97件	84.3%
ない	79件	17.2%	14件	12.2%
回答なし	61件	13.3%	4件	3.5%

F. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=115)	
ある	371件	80.7%	106	92.2%
ない	63件	13.7%	5	4.3%
回答なし	26件	5.7%	4件	3.5%

G. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=115)	
必ずおこなう	218件	47.4%	66件	57.4%
ほぼおこなう	34件	7.4%	9件	7.8%
おこなわない	29件	6.3%	11件	9.6%
医療機関に依頼する	128件	27.8%	28件	24.3%
回答なし	51件	11.1%	1件	0.9%

H. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？

通常通り行う	345件	75.0%
受け付けない	1件	0.2%
特別な配慮をする	88件	19.1%
→保護者の同意、通知	71	80.7%
→本人の意思、理解度の確認	12	13.6%

⑤ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=460)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	441	95.9%
HIVについてあった	1	0.2%
STIIについてあった	2	0.4%